

由良南原遺跡

高松市川東団地住宅建設事業に伴う
埋藏文化財発掘調査報告書

2002. 3

高松市教育委員会

例　言

- 1 本書は、高松市土木部住宅課が高松市由良町で施工した高松市川東団地住宅建設事業に伴う由良南原遺跡（ゆらなんばらいせき）の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査及び整理作業については高松市教育委員会が実施した。
- 3 由良南原遺跡の調査は、試掘調査を平成11年7月26日～27日および8月17日～23日の期間、文化部文化振興課 文化財専門員 川畠 聰が行い、本調査を平成12年7月31日～10月3日の期間 同課文化財専門員 山元敏裕が行った。
- 4 また、整理作業は平成13年度に山元が行った。
- 5 調査および整理作業においては、下記の機関・方々に協力・教示を得た。記して謝意を表したい。
(敬称略)
香川県教育委員会、(財)香川県埋蔵文化財調査センター、讃岐文化遺産研究会、片桐孝浩、佐藤龍馬、松本和彦
- 6 本報告書の執筆は、第2章を文化財専門員 大嶋和則が行い、それ以外の執筆と編集を山元が行った。
- 7 本文の挿図として、国土地理院発行2万5千分の1地形図「高松南部」および高松市都市計画図2千分の1「三谷1」を一部改変して使用した。
- 8 発掘調査で得られたすべての資料は、高松市教育委員会で保管している。
- 9 本報告書で用いる方位は、第1・4図が座標北、それ以外は磁北を示す。調査区内の標高は、四箇池土地改良区事務所敷地内にある20.594mの水準点を移動し使用した。
- 10 本書で用いる遺構の略号は次のとおりである。
S B…掘立柱建物 S D…溝 S K…土坑 N P…北区柱穴 S P…南区柱穴 S R…旧河道

目　次

例言・目次	1
第1章　調査の経緯と経過	2
第1節　調査の経緯	2
第2節　調査の経過	3
第2章　地理的環境・歴史的環境	4
第1節　地理的環境	4
第2節　歴史的環境	4
第3章　調査の成果	6
第1節　基本層序	6
第2節　遺構の内容	6
第4章　まとめ	31
第1節　遺構の変遷について	31
第2節　鍛冶遺構について	32
第3節　出土遺物について	32
柱穴一覧表	33
出土遺物観察表	36
写真図版	
報告書抄録	

第1章 調査の経緯と経過

第1節 調査の経緯

平成10年度に高松市土木部住宅課から、平成12年度事業として計画している高松市由良町所在の市営川東団地の老朽化による建替事業実施にあたり、周知の埋蔵文化財包蔵地の照会があった。当該地において周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しないが、由良山城の平城である由良城推定地が予定地の北側に近接することから、由良城に関係する遺構の存在が想定されることおよび事業面積が広いことなどから、平成11年度に予定地内の試掘調査を実施し遺跡の有無を確認することとなった。



第1図 遺跡位置図



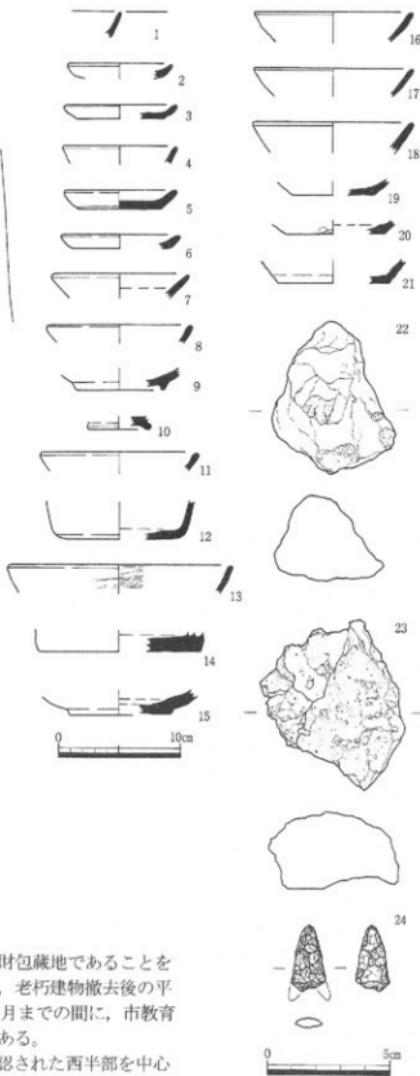
第2図 試掘調査トレンチ配置図

第2節 調査の経過

試掘調査は平成 11 年 7 月 26 日～27 日、8 月 17 日～23 日の 2 回に分けて実施した。試掘調査の結果、事業予定地の西半分が微高地であり、東半分が旧河道であることが判明した。さらに、微高地上にあたる第 5・7 トレンチでは、溝・柱穴・土坑を確認するとともに鎌倉～室町時代の土器や鍛冶遺構を想定できるような鉄滓や焼土などの遺物が出土したことから、当該期の遺構が広がっていることが判明した。

そこで、事業予定地のうち西半分が埋蔵文化財包蔵地であることを住宅課に伝え、本調査の時期を協議した結果、老朽建物撤去後の平成 12 年 7 月中旬から新築工事に着手する 10 月までの間に、市教育委員会が調査を実施することとなったものである。

実際の調査は、事業予定地のうち遺構が確認された西半部を中心 に平成 12 年 7 月 31 日～10 月 3 日までの間、市教委直営で実施し、最終的な発掘調査面積は 1,085 m² であった。



第3図 試掘調査トレンチ出土遺物実測図

第2章 地理的環境・歴史的環境

第1節 地理的環境

香川県の中央に低い山塊に囲まれた高松平野がある。讃岐山脈から瀬戸内海へ流れる本津川・香東川・春日川・新川などの堆積作用によって形成されたものである。周囲の山々は、花崗岩の上に浸食を受けにくい安山岩がかぶさっており、そのため侵食開析から取り残された台状平坦面を残す山地(メサ)と平野に取り残された孤立丘(ピュート)が平野の景観を特徴づけている。また、年間降水量が1,000mm程度のため、河川は渾れ川となり、ため池が多いことも特徴的である。

由良南原遺跡の所在する山田地区は、高松平野の東南部に位置する。なかでも遺跡の西方に望む由良山はピュート地形の典型例で、黒雲母安山岩からなり、柱状節理が発達している。また、南方には讃岐山脈へと続く丘陵地が所在する。この丘陵地に源を発する春日川は、神内上池・神内池・松尾池・城池の大貯水池を抱き、瀬戸内海へ注いでいる。平野南部では河岸段丘を良く残し、遺跡周辺では緩やかな傾斜の扇状地を形成している。現在直線的に流れる春日川であるが、扇状地形形成過程で数多くの流路を生み出したと考えられる。現在も伏流水が地下に認められ、上御塩をはじめ湧水が各所で認められる。現在の水路は、春日川および旧流路の湧水などの水脈を上手く生かしながら、改良を重ね、複雑な水利慣行を生み出してきた地域である。また、降水量の少ない地域のため、由良山東麓の清水神社では3個体の甕を上・中・下御塩から取った神水で洗うと雨が降るという雨乞い神事も伝えられている。

第2節 歴史的環境

山田地区の遺跡は、遺跡の調査例が少なく不明な点が多いが、古くから南部の丘陵地を中心古墳等が多く知られている。現在のところ、旧石器時代に遡る遺跡は知られていない。周辺では雨山南遺跡(三谷町)で旧石器が表採されている。

縄文時代では、前期の下司遺跡(東植田町)、後期の光寺寺山遺跡(池田町)、後晩期の竹元遺跡(東植田町)などが知られるが、いずれも旧河道出土や表採資料によるもので、集落は不明である。

弥生時代前期末には、環濠の可能性が考えられる構を有する光寺寺山遺跡(池田町)が出現し、中期後半には光寺寺山遺跡の南西に分銅形土製品の出土した中山田遺跡(池田町)が見られる。後期になると遺跡数は増加し、ベッド状遺構を伴う堅穴住居を有する葛谷遺跡(西植田町)、甕棺を出土した円養寺遺跡(西植田町)等が知られている。

古墳時代では、前期の古墳は知られていない。周辺で小日山1号墳(三谷町)が前期末頃の古墳として知られる。中期では、径40mの円墳の高野丸山古墳(川島本町)、家形埴輪を出土した前方後円墳の尾越古墳(西植田町)をはじめ、高野南1号墳(川島本町)、西尾天神社古墳(十川西町)などがみられる。また、小日山1号墳や高野丸山古墳の首長墓系列の中に全長88mの前方後円墳である三谷石舟古墳(三谷町)が知られている。後期古墳と考えられる古墳は、上佐山東麓の丘陵部に数多く存在する。中でも調査された古墳として中山田3・4号墳(池田町)がある。特に3号墳は、弥生中期の堅穴住居を掘り込む形で造営された古墳として著名である。周辺では、高松平野南部の巨石墳として矢野面古墳(三谷町)が知られている。また、窯業面では初期須恵器の窯跡として知られる二郎池西岸窯跡(三谷町)が著名である。一方、集落は調査例が少ないとあって、現段階では不明である。

古代では、由良南原遺跡の南方で東西方向にのびる南海道が見られ、隣接する三谷町には三谷駅が存在したといわれている。また、「市ノ坪」や「三十六」という小字名が残り、条里地割を良く残す地域でもある。寺院遺構も多く、南海道沿いには古瓦を出土したことで知られる高野庵寺(川島本町)が見られる。また、春日川の上流部でも方形基壇が残存する下司廐寺(東植田町)がある。さらに、平安時代の創建と伝えられている白性院(由良町)が由良山の東麓に存在した。

平安末期になると武士団が成立するようになり、山田地区には神櫛王の子孫と伝える植田氏一族が

勢力を伸ばした。植田氏はさらに土着した地域を姓にして十河・神内・三谷・由良氏などに分かれ、十河氏を一族の棟梁として山田郡で勢力を誇り、数多くの城館を築いた。由良南原遺跡周辺では由良遠江守兼光の居城である由良城（由良町）と由良山城（由良町）が見られる。1587年、生駒親正が讃岐に入部し、讃岐全域を統治する城郭として由良山が候補地になったが、水の確保が難しいため現在の高松城を築いたことも知られている。この他、植田氏の戸田城（東植田町）と戸田山城（東植田町）、十河氏の十河城（十河東町）、神内氏の神内城（西植田町）、三谷氏の三谷城（三谷町）と王佐山城（三谷町）があり、さらに支城も多い。

江戸時代の遺跡は現在のところ不明であるが、古文書等の記録から多くのことが知られている。戦国期に相次ぐ戦乱で疲弊した讃岐であったが、生駒氏や松平氏によって新田開発とともに春日川の上流部に位置する四箇池（神内池・松尾池・城池・公渕池）等のため池を築造し、治水事業にも努めた。しかし、相次ぐ干ばつ等の災害により、農民は困窮し、1749年には坂本村（川島東町）を舞台に袖乞闘争と呼ばれる一揆も起った。また、新たな産業として由良石の採掘も行われるようになった。

現在、急速に高松市街のベッドタウン化による宅地の増加が進行している地域であるが、散村の状況を残した地域である。



- | | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|----------|
| 1 山良南原遺跡 | 2 山良城跡 | 3 山良山城跡 | 4 自性院跡 | 5 上御塲 | 6 中御塲 |
| 7 下御塲 | 8 南海道 | 9 加羅羅神社古墳 | 10 錦野城跡 | 11 高野丸山古墳 | 12 高野庵寺 |
| 13 高野南 1 号墳 | 14 高野南 2 号墳 | 15 平石上古墳群 | 16 小日山 1 号墳 | 17 小日山 2 号墳 | 18 矢野面古墳 |
| 19 三郎地西岸密跡 | 20 三谷城跡 | 21 三谷石舟古墳 | 22 石舟池古墳群 | 23 三谷通谷遺跡 | 24 下代古墳 |
| 25 光尊寺山遺跡 | 26 池田城跡 | 27 西尾天神社古墳 | 28 十河城跡 | | |

第4図 周辺の主要遺跡分布図（国土地理院 S=1/25,000「高松南部」を使用）

第3章 調査の成果

第1節 基本層序（第5,6図）

由良南原遺跡の1層は旧川東団地造成に伴う盛土であり、平均20cm程度の厚さで花崗土が盛られている。この他、花崗土の下からは旧川東団地に伴う水道管理設や時期は不明であるが南区中央部では大規模な攪乱が深く及んでおり、良好な土層堆積を観察できる部分は少ない。2層はにぶい黄褐色シルト質極細砂（10YR7/3）が5cm程度の厚さで堆積している。3層は灰黄色シルト（2.5Y6/2）が5～10cmの厚さで堆積している。4層は当遺跡の遺構面で北区では灰褐色粗砂混じりシルト10cmの厚さで堆積し、南区では褐灰色砂疊（10YR6/1）に変化する。北区では4層の下に5層である土壤化した黒褐色シルト（7.5YR3/1）が堆積し、北端の一部では6層である褐灰色シルト（7.5YR5/1）の堆積が認められる。南区北側では4層の上面に黒褐色粗砂～砂疊混じりシルト（10YR2/2）の堆積が認められ、弥生時代後期から古墳時代前期の土器を若干ではあるが包含している。

第2節 遺構の内容

今回の発掘調査で確認した遺構は、掘立柱建物5棟、土坑8基、溝25条、ピット240個、旧河道1本である。各遺構の時期は、13世紀を中心とする遺構が大半を占め、一部14世紀に下るものも認められる。遺構は確認していないが、各遺構に混じて弥生時代中期後半から古墳時代前期の遺物と8～9世紀の遺物も出土している。出土した土器に摩滅がほとんど認められないことから、周辺に同時期の遺構が存在している可能性が考えられる。

SBO1（第8,9図）

北区北西隅で確認した3間2面の掘立柱建物である。建物復元の根拠として棟持柱と考えられるN P88からN P99およびN P86への距離が1.90mに対してN P99からN P100までの距離とN P86からN P83までの距離が1.10mと短いことがあげられること、内側柱穴の規模が直径0.35～0.50mに対して外側柱穴の規模はN P104を除き直径0.25～0.30mと一回り小さいことから、N P99, 153, 156, 155, 68, 80, 86, 88で囲まれる範囲が主屋で、N P100, 104, 107, 109が北側の庇、N P83, 78, 66, 64が南側の庇として復元した。柱穴の深さは主屋を構成する柱穴が0.10～0.59m、N P88を除き0.35m以上の深さをもつ。一方、庇を構成する柱穴は北側では0.21～0.45m、南側では0.23～0.39mであり深さにばらつきがある。遺物は各柱穴から土師質土器小皿・杯・鍋・須恵質土器碗、瓦質土器こね鉢、瓦質の龜山焼壺等が出土している他、N P155からは刀子と考えられる鉄器も出土している。

NP87（第8,67図）

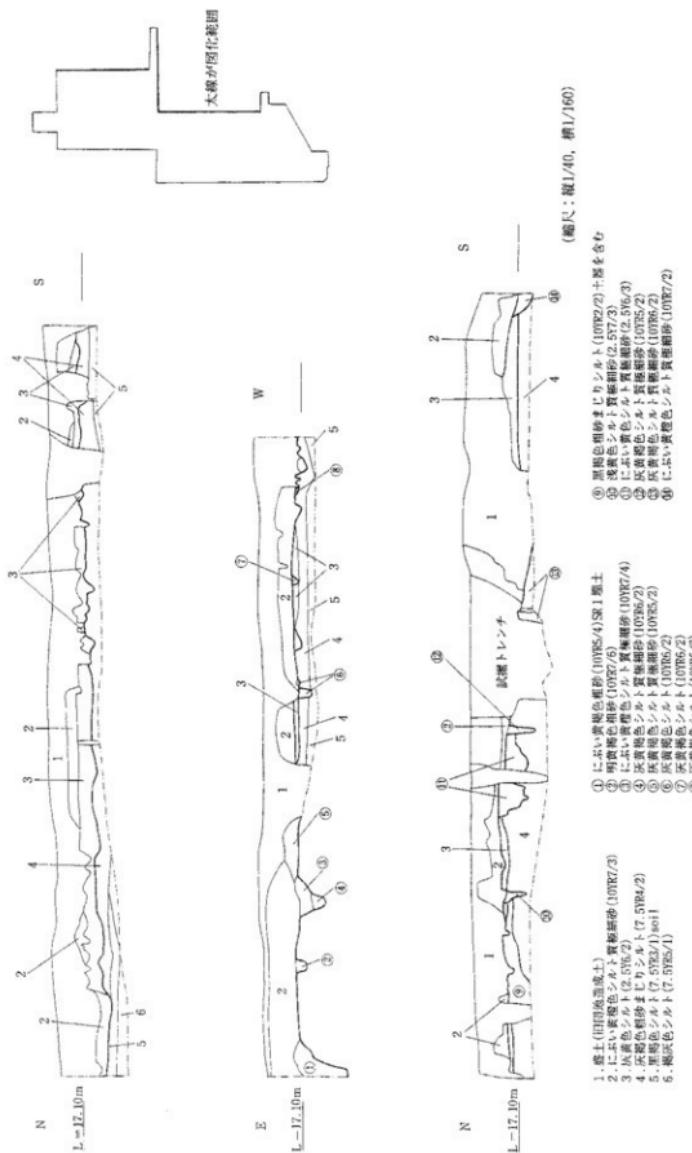
N P88を切るピットで平面形は卵型を呈する。ピットの規模は長軸0.67m、短軸0.52m、深さ0.20mである。遺物は後世の削半により一部壊されているが、上層で完形に近い土師質土器杯・小皿が出土している。このピットは他の柱穴に比べ深度も浅く形も歪であること、完形に近い土器が出土していること、S B01の棟持柱であるN P88を切っているが出土した土器は他の柱穴出土土器と時期差が認められないことから、S B01立柱時における地鎮跡の可能性が考えられる。

SBO2（第10,11図）

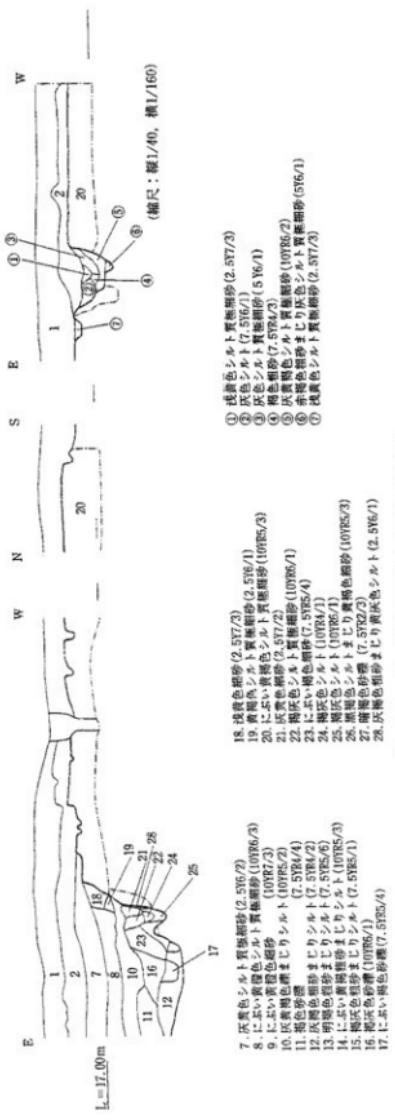
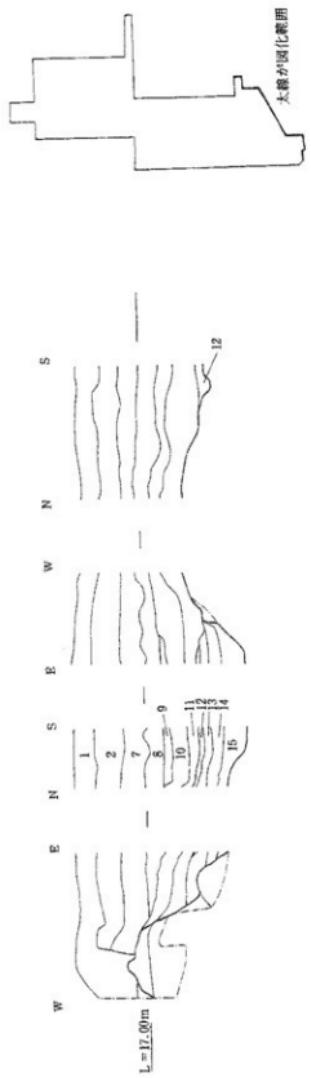
北区東側で確認した2間×2間の縦柱の掘立柱建物である。柱穴の規模は北列と南列がほぼ同じで直径0.30m、深さ0.34～0.78mで4隅の柱穴が他の柱穴に比べ深い。中央列は平面形態について橢円形のものが多く、規模にまとまりは認められない。長軸0.50～0.70m、短軸0.32～0.54mと他の柱穴列に比べ一回り大きい。柱間は北側桁行が2.90m、南側桁行が2.30mと北側桁行が0.60m長い。梁行は2.00～2.10mとほぼ一定している。遺物はN P17,23,37から土師質土器の小皿・杯・こね鉢が出土している。

SBO3（第12図）

北区東側S B02の南側で確認した2間×3間の掘立柱建物である。柱穴の規模は直径0.15～0.40m、深さについても0.20～0.75mとばらつきがあり、隅の柱穴が他の柱穴に比べ規模が大きい上に深い。遺物は出土していない。

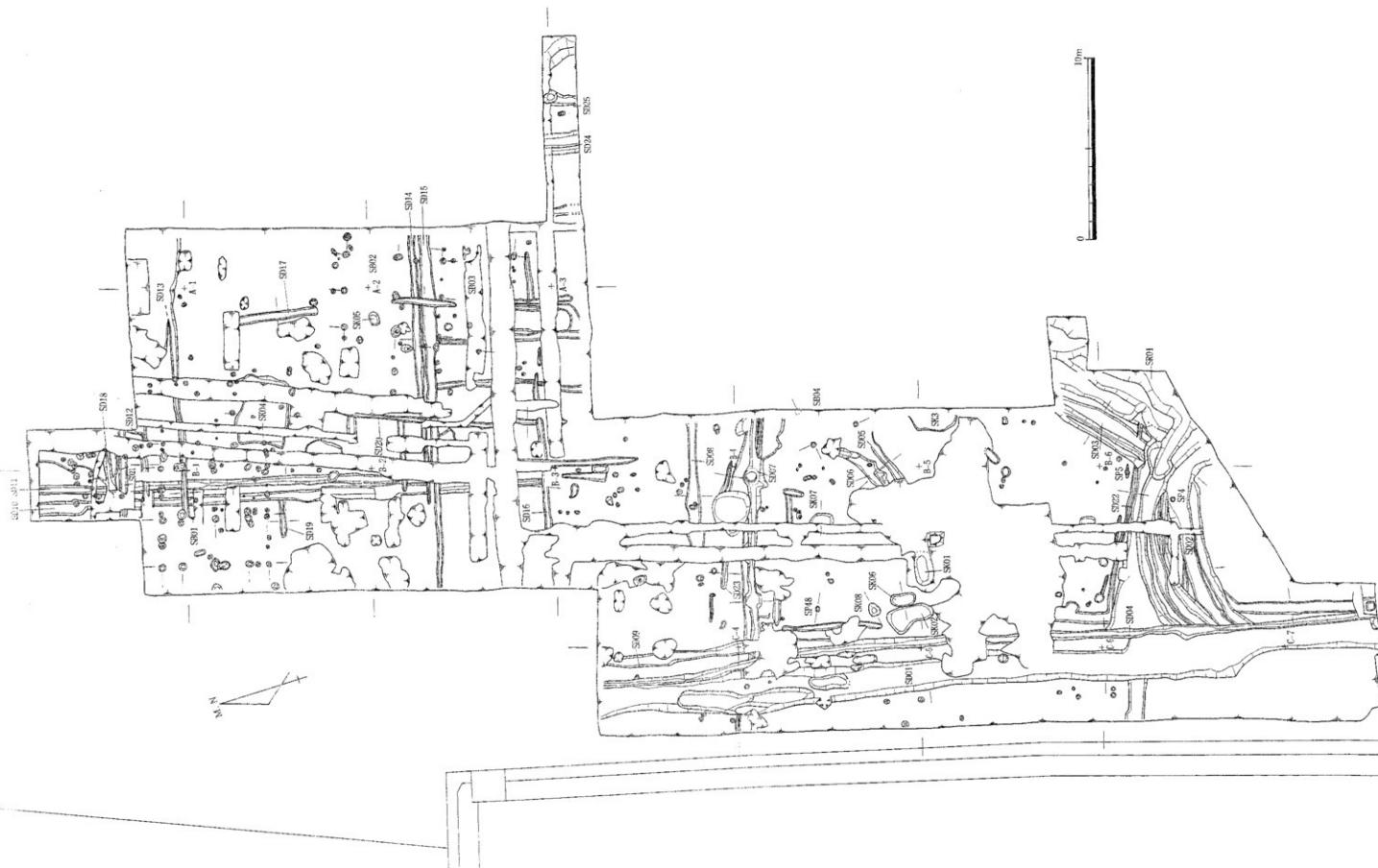


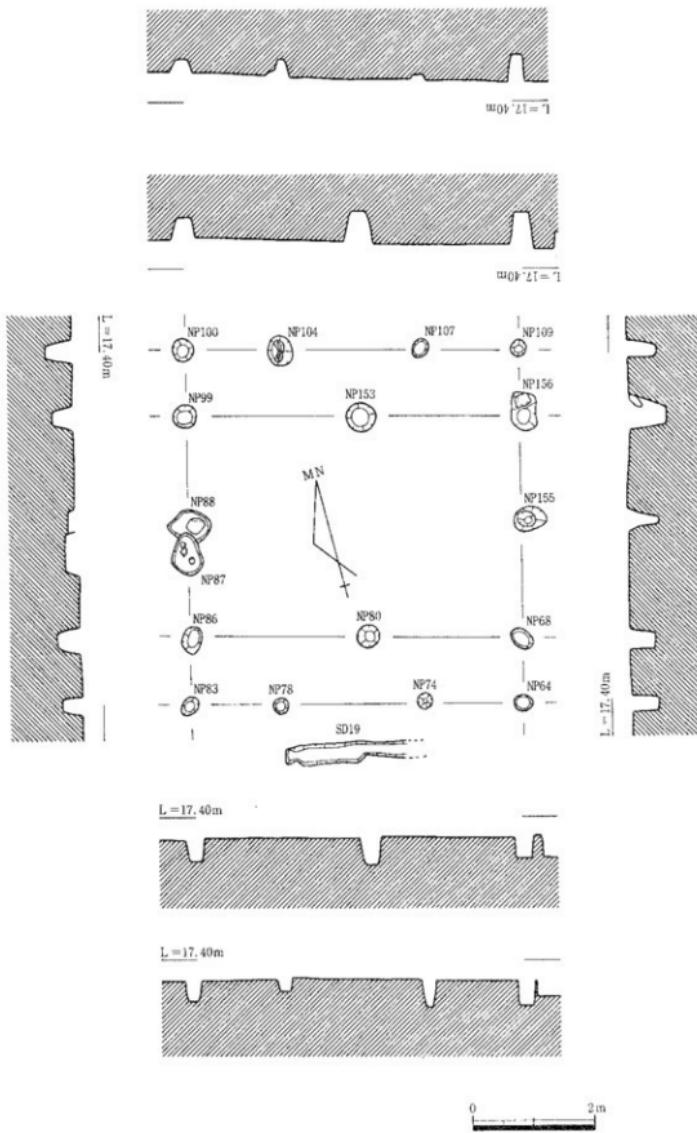
第五図 由良南岸過熱調査区土層図 (1)



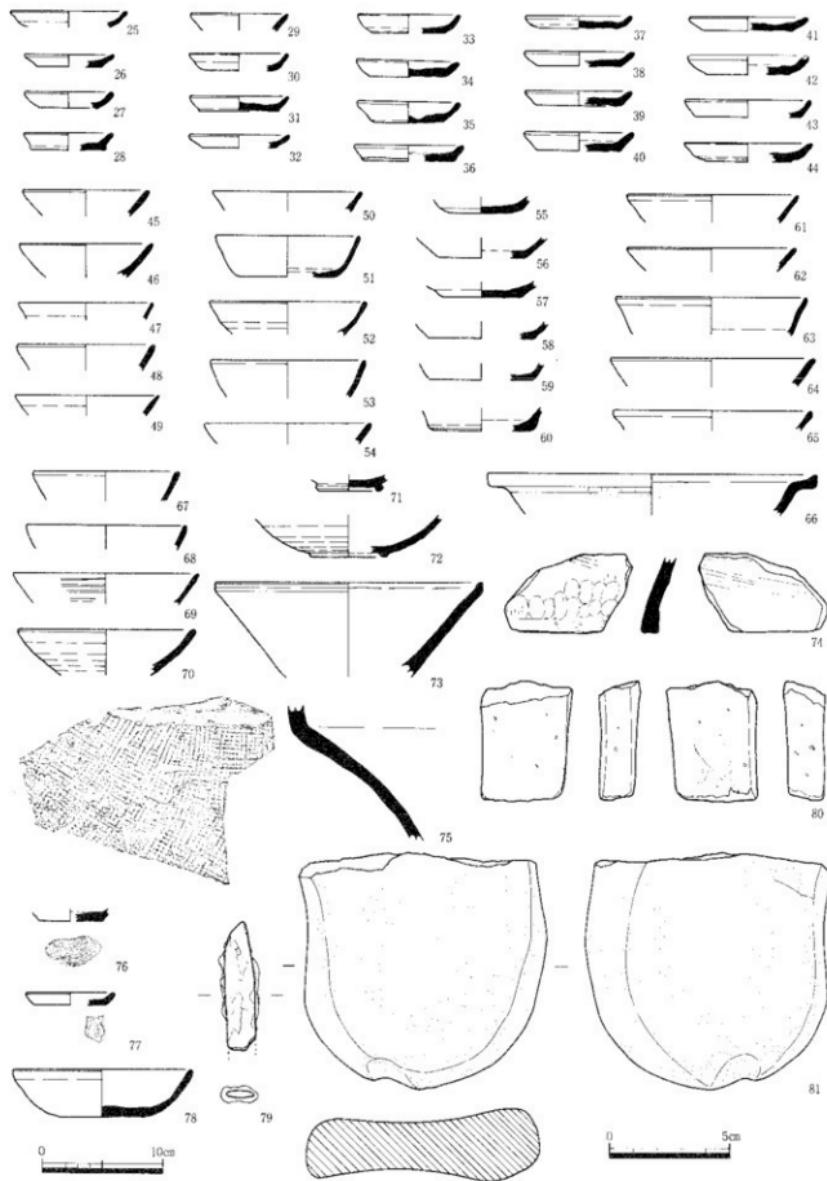
第6図 由良南原過疎調査区土層図(2)

第7図 由良南原遺跡遺構配置図



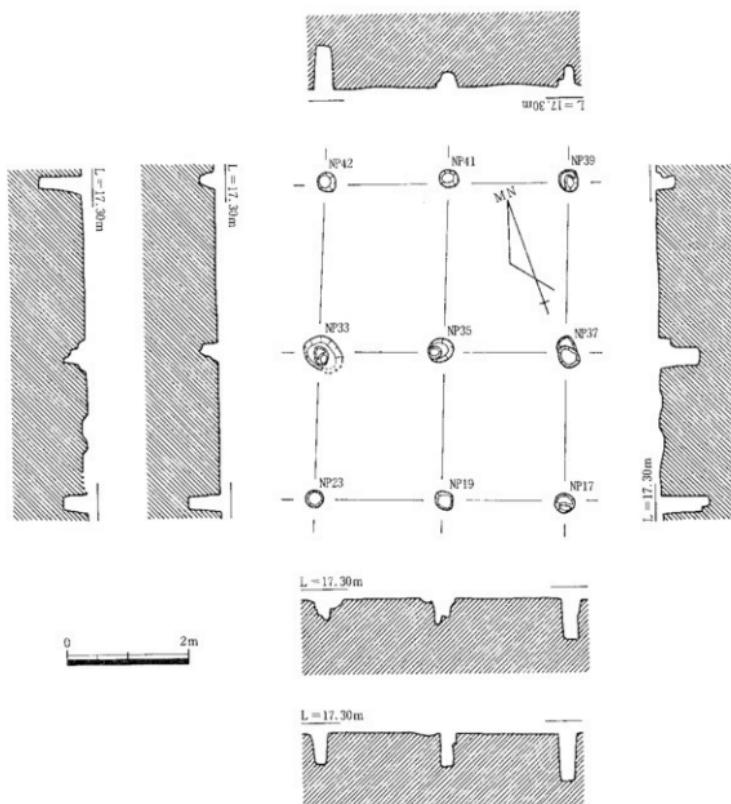


第8図 SB01平・断面図



第9図 SB 01出土遺物実測図

NP64 51	NP88 59-63	NP109 43-47-50-54-58-61
NP68 72	NP99 36-42-45-55-60	NP153 28-33-37-39-40-41-44-45-48-53
NP86 29	NP100 26-27-32	62-65-66-67-69-70-71-73-74-75
NP87 76-77-78-80-81	NP101 31-49-52-56-57-68	NP155 30-64-79
		NP156 25-34-35-38



第10図 SBO 2 平・断面図

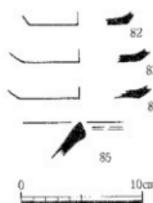
SBO 4 (第13,14図)

南区中央部東端で確認した1間以上×1間以上の掘立柱建物であるが、建物の北西部分を確認したのみで、大半は調査区外に広がるものと考えられる。この為、平面形態、規模等の詳細は不明である。

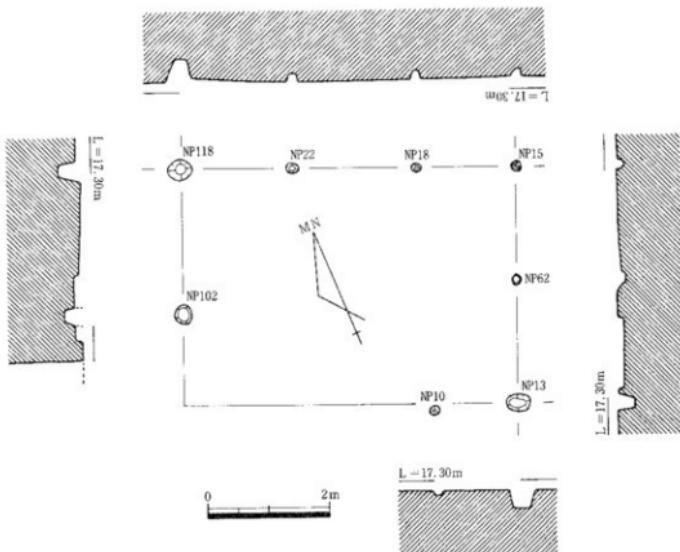
いずれの柱穴も直径は0.2m、深さ0.2mの規模を持つ。この内、北西隅の柱穴のみ根石が存在する。遺物はS P 36から土師質土器の杯が1点出土している。

SBO 5 (第15,16図)

S BO 1に重複する形で確認した2間×4間の掘立柱建物である。北側は3間、南側は4間と南北で間口が対応しない。また、N P 63, 65, 92, 97,



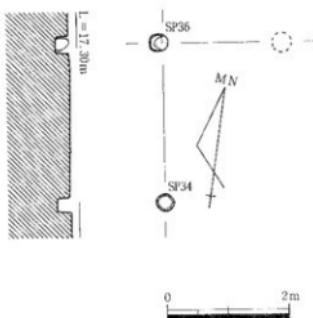
第11図 SBO 2
出土遺物実測図



第12図 SB 0 3平・断面図

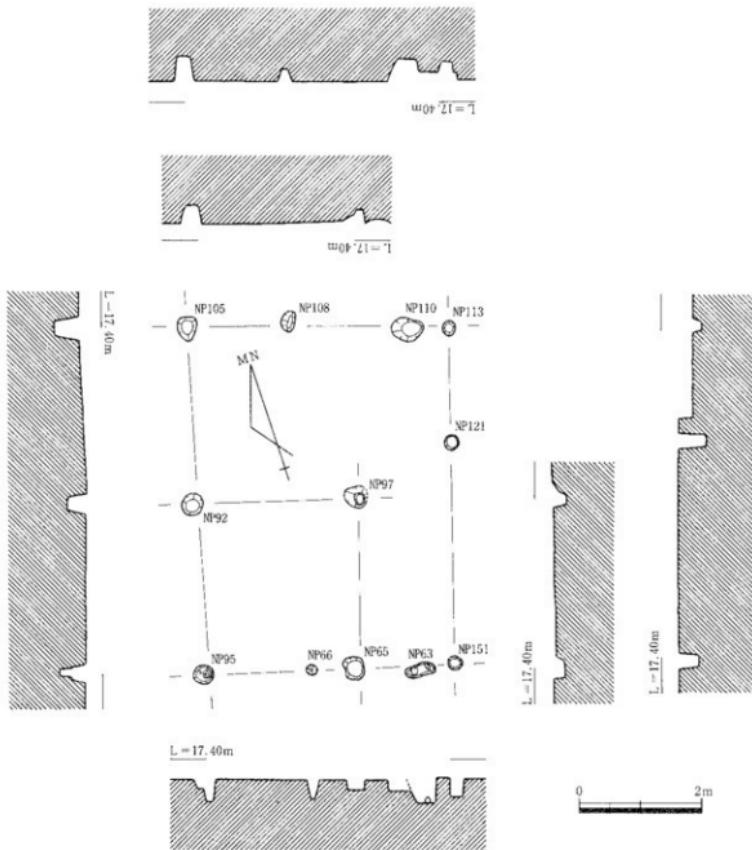


第14図 SB 0 4出土遺物実測図



第13図 SB 0 4平・断面図

105, 110 の柱穴が他の柱穴に比べて直徑 0.35 m 前後と大きなことから、これらに囲まれる範囲が主屋で、東側の柱穴列である N P 113, 114, 151 は他の柱穴に比べ直徑 0.20m と小ぶりであることから底である可能性が考えられる。推定の域を出ないが、N P 65, 95, 92, 97 間の間口が他の柱穴の間口と対応しないことから、前者の囲まれる範囲が特別の空間である可能性が考えられる。遺物は各柱穴から土師質土器小皿・杯・椀、須恵質土器杯・こね鉢、瓦器椀などが出土している他、混入と考えられる須恵器長颈壺が出土している。



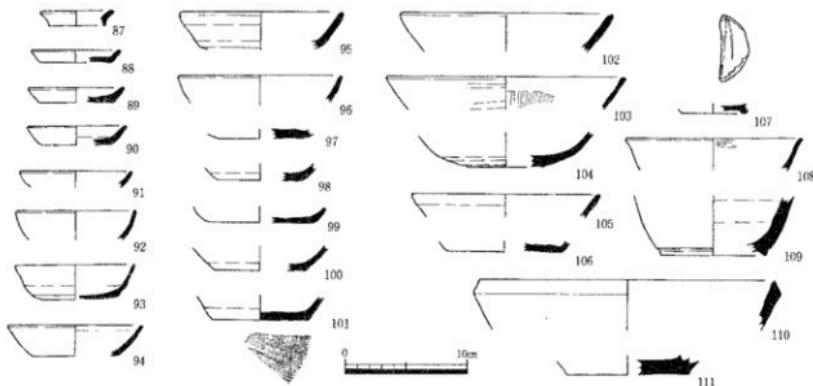
第15図 SB 05平・断面図

SK01

南区中央部 SK06 の南東で確認した土坑である。上部を搅乱によって破壊されている為、上部の状況は不明であるが、検出面での平面形態は橢円形を呈する。土坑の規模は長軸 1.90m、短軸 1.05m、検出面からの深さ 0.45m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10Y R 7/4) の単一層である。遺物は図示していないが、近世と考えられる平瓦、陶胎染付の広東碗等が出土している。

SK02 (第 17,18 図)

南区中央部で確認した土坑である。平面形態は中央部がくびれる瓢箪型を呈する。土坑の規模は長軸 2.55m、短軸 0.95m、深さ 0.25m である。土層埋土は 3 層に分層できる。遺物は土師質土器小皿・杯・椀・土鍋・擂鉢、須恵質土器椀、こね鉢、瓦質土器こね鉢、占備系土師器椀が出土している他、調査中は気づ



NP92 98-108
NP95 97-104-111
NP97 88-105

NP105 87-89-90-91-93-94-95-96-101-102-103-110
NP110 92-100-107-109
NP113 99

NP114 106

かなかつたが、出土遺物の水洗後に人の頭骨と思われる骨が出土していることが判明した。このことに加えて、残りのよい土器が出土していること、調査中に埋土から焼土塊の出上が認められていたことを合わせて考えると、現地での検証は不可能であるが、当土坑は火葬墓であった可能性が考えられる。

SK03 (第19図)

南区中央部東端で確認した土坑である。東側が調査区外に広がるため全体の状況は不明である。規模は長軸 2.65m、短軸 0.95m 以上、深さ 0.10m である。土層埋土は黒褐色シルトをブロック状に含むにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/4) の単一層である。遺物は出土していない。

SK04 (第24,25図)

北区中央部で確認した土坑である。平面形態は長方形形状を呈する。規模は長軸 3.65m、短軸 2.70m、深さ 0.10m である。土層埋土は、灰褐色シルト質極細砂 (7.5YR5/2) の単一層である。遺物は土師質土器小皿・杯・鍋、須恵質土器碗・こね鉢が川土している。

SK05 (第20,21図)

北区中央部で確認した土坑である。平面形態は東西に長い梢円形を呈する。土坑の規模は長軸 0.75m、短軸 0.50m、深さ 0.19m である。土層埋土は灰褐色シルト質極細砂の単一層である。遺物は土師質土器杯・小皿が出土している。

SK06 (第22,23図)

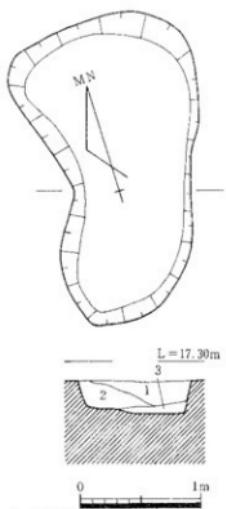
南区中央部 SK02 の東側で確認した土坑である。平面形態は不整な梢円形を呈する。規模は長軸 1.35m、短軸 0.70m、深さ 0.11m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/2) の単一層で焼土をブロック状に含む。遺物は土師質土器の小皿が出上している。

SK07 (第26,27図)

南区中央部 SB04 の西側で確認した土坑である。西半部を水道管理設溝によって破壊されているため西半部の平面形態は不明であるが、不整な円形を呈するものと考えられる。規模は南北 1.30m、東西 0.55m 以上、深さ 0.29m である。遺物は土師質土器小皿が 2 点出土している。

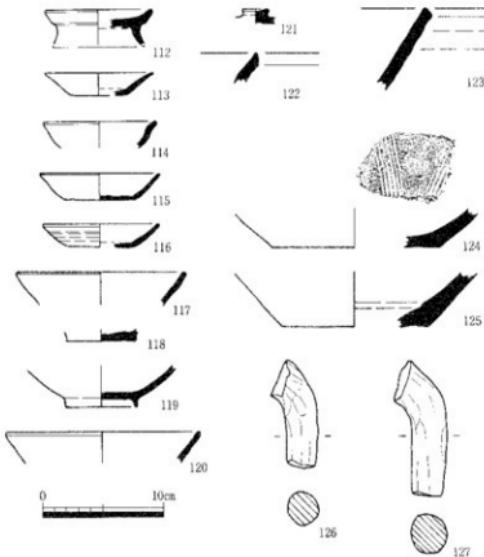
SK08 (第28,29図)

南区中央部 SK02 の北側で確認した不整な梢円形の土坑である。規模は東西 0.80m、南北 0.60m、深さ 0.09m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/2) の単一層である。遺物は土師質土器の杯が 1 点出土している。

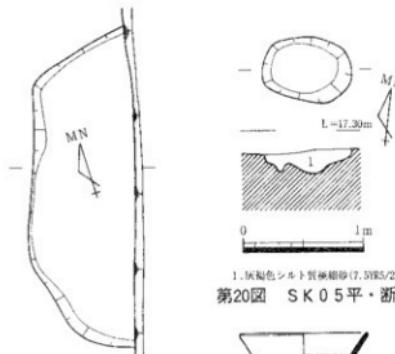


1. にぶい黄褐色シルト質粘土 (10997/4)
2. 黄褐色シルト
(にぶい黄褐色シルト質粘土層をブロック状に含む)
(10998/2)
3. 黄褐色シルト質粘土 (2.5m/2)

第17図 SK 0 2 平・断面図



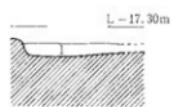
第18図 SK 0 2 出土遺物実測図



第20図 SK 0 5 平・断面図

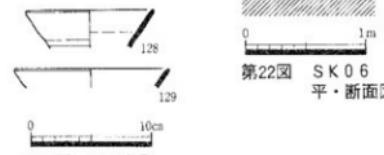


第23図 SK 0 6
出土遺物実測図



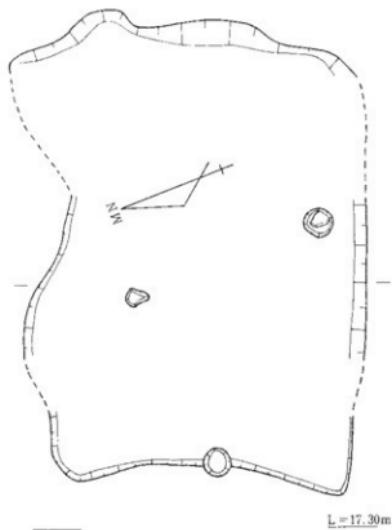
1. にぶい黄褐色シルト質粘土
(黄褐色シルトをブロック状に含む)
(10997/4)

第19図 SK 0 3 平・断面図

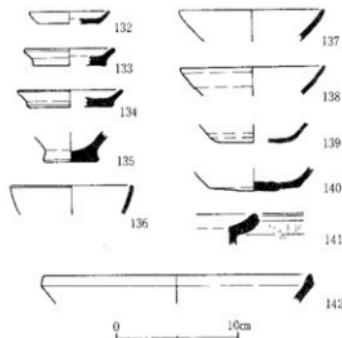


第22図 SK 0 6
平・断面図

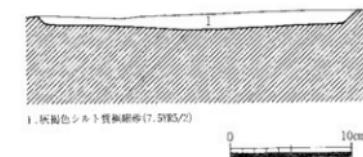
第21図 SK 0 5
出土遺物実測図



第24図 SK 04 平・断面図



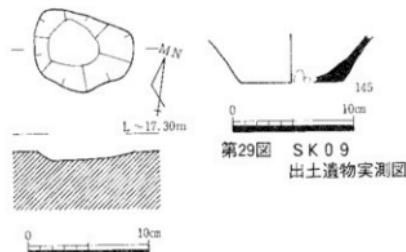
第25図 SK 04 出土遺物実測図



第26図 SK 07 平・断面図

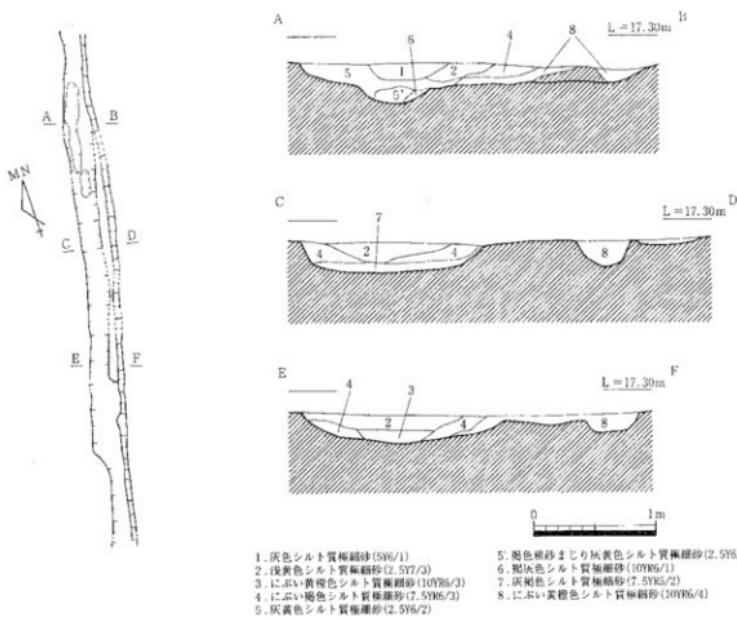


第27図 SK 07 出土遺物実測図

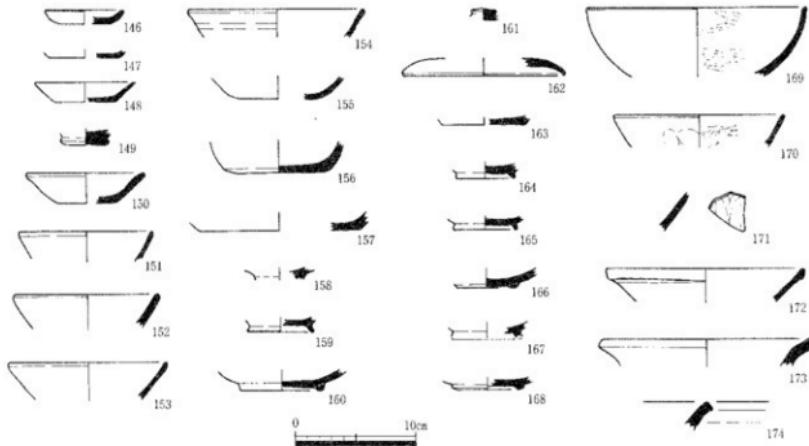


第29図 SK 09 出土遺物実測図

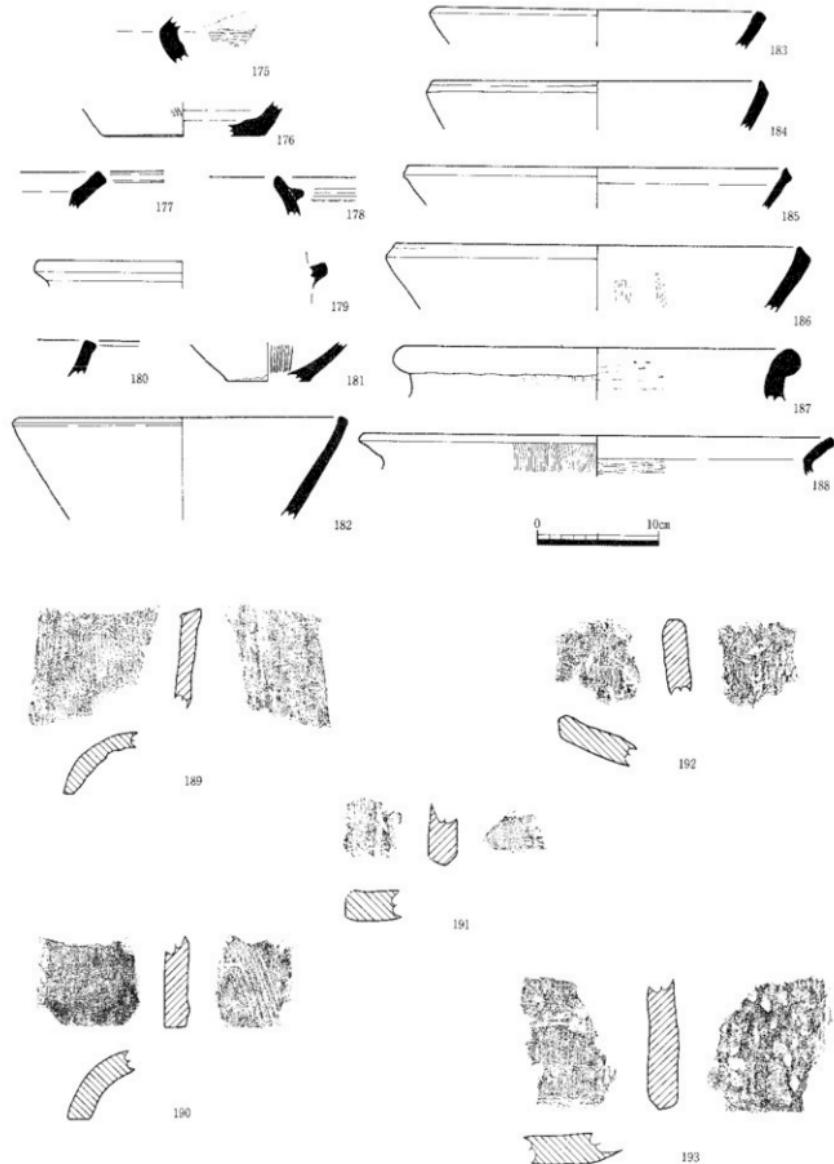
第28図 SK 09 平・断面図



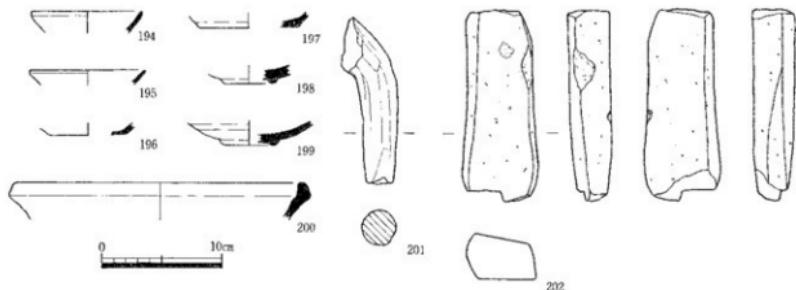
第30図 SD01・04土層図



第31図 SD01出土遺物実測図 (1)



第32図 SD 01出土遺物実測図(2)



第33図 SD01出土遺物実測図（3）

SD01（第30,31,32,33図）

南区西端で確認した南北溝である。溝の方位はN 12° Eである。溝の規模は幅1.60～2.00m、深さ0.20mであるが、北側では中央部が深くなる部分も認められる。延長は42.0mを確認した。南端付近で東にSD02として分岐するが、上面において切り合いによる前後関係は確認できなかった。北側延長部分について、調査対象地から外れることから延長の状況は不明である。トレーナーによる土層堆積状況の観察から大きく2時期に分かれるため、1、2層を上層、それより下を下層として遺物取り上げを行った。出土した遺物を検討した結果、残念ながら時期差は認められなかった。後に東側に堆積する4層がSD04と同一層であることが判明したことから、最終的には少なくとも3時期は存在していたことになる。

遺物は土師質土器小皿・杯・椀・擂鉢・鍋・足釜、須恵質土器杯・椀・束腰系こね鉢、瓦器碗、白磁碗、青磁碗、平瓦、丸瓦等が出土している。

SD02（第34,35図）

南区南端で確認した東西溝である。中央部を水道管理設備により破壊されているため、流路のつながりに不明な部分が存在する。SD02はSD01から分岐するもので、大きく2条の流れが認められ、北側をSD02-1、南側をSD02-2と呼称する。SD02-1は幅2.00～3.00m、深さ0.20mの規模をもち溝底に浅い2条の流路が認められるが、東側は水道管理設備を超えたあたりで消滅する。SD02-2は幅1.50～1.70m、深さ0.15mの規模をもち、2条の流路が認められる。土層堆積から北側の流路が新しく、南の流路が古いことが認められるが、構造検出時は切り合いによる前後関係がつかめなかったことから、遺物はSD02-2として一括して取り上げている。

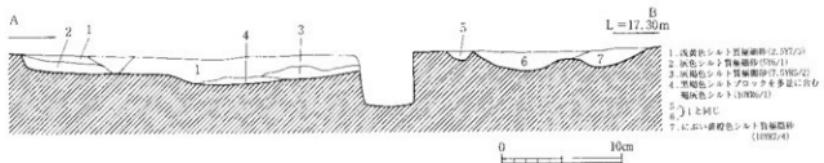
遺物は土師質土器小皿・杯・足釜、須恵質土器杯・椀・こね鉢、瓦質上器こね鉢等が出土している他、須恵器杯・壺、黒色土器椀、青磁碗など時代が遡る遺物も出土している。

SD03（第36,37図）

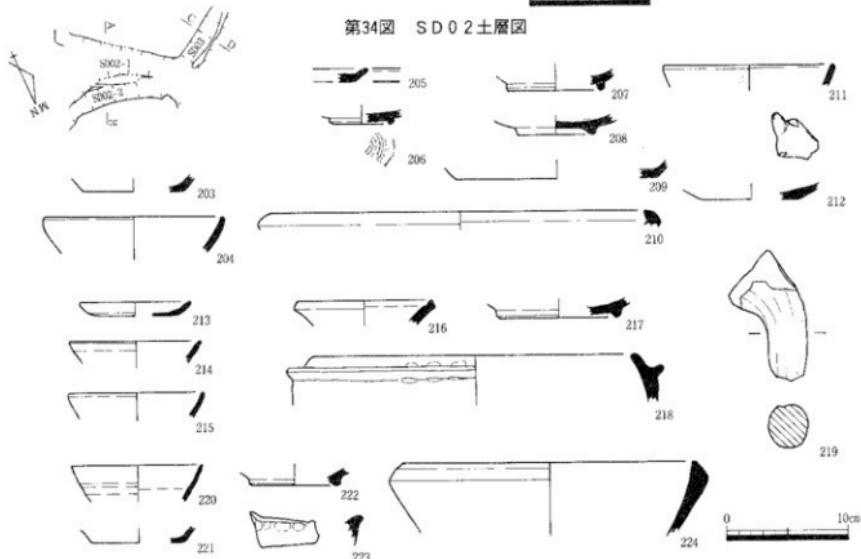
南区東南隅で確認した溝でSD02から分岐し北流する。溝の方位はN50° Eである。溝の断面は西側が深く、東側が浅い形状を示す。溝の規模は幅1.45m、深さ0.20mである。断面形状は左右で異なるが北区東拡張部で一部分確認したSD24につながるものと考えられる。土層埋土は2層に分かれ上層は浅黄色シルト質極細砂(2.5Y7/3)、下層はにぶい黄橙色シルト質極細砂(10YR6/3)である。遺物は土師質土器小皿・杯・碗・足釜、須恵質土器杯・こね鉢等が出土している。

SD04（第30,38図）

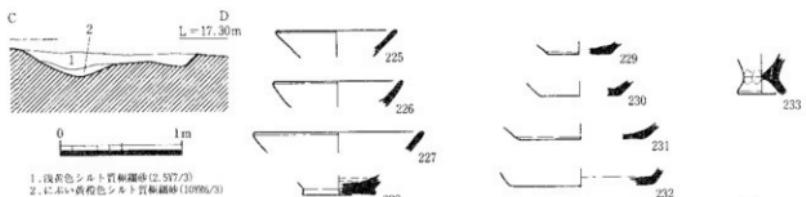
南区西端SD01の東側で確認した溝である。溝の方位は南側ではN15° E、北側へいくにしたがい10°程西へ振るが、SD01にほぼ並行する。規模は幅0.40～0.45m、深さ0.20mである。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂(10YR6/4)の単一層である。遺物は土師質土器小皿・杯・碗・罐、須恵質土器杯・黑色土器椀、平瓦等が出土している。



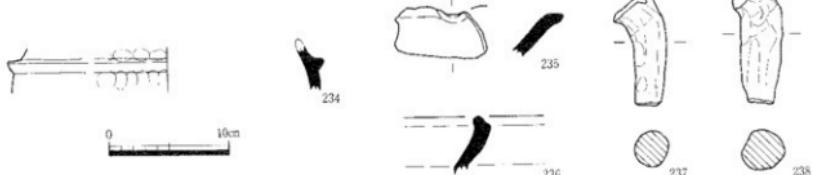
第34図 SD 0 2 土層図



第35図 SD 0 2 出土遺物実測図



第36図 SD 0 3 土層図



第37図 SD 0 3 出土遺物実測図

SD05 (第 39,40 図)

南区中央部東端で確認した溝である。両延長部分は擾乱および後世の削平で残存していない。溝の規模は幅 0.30m、深さ 0.04m と極めて残存状況は悪い。遺物は土師質土器の杯が 1 点出土している。

SD06 (第 41,42 図)

南区中央部東端 SD05 の北側で確認した溝である。SD06 同様擾乱および後世の削平で両延長部分は不明である。溝の規模は幅 0.65m、深さ 0.15m である。土層埋土は黒褐色シルトをブロック状に含むにぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は青磁碗、土師質土器小皿・甕・足釜、瓦器椀、混入と考えられる弥生土器瓶などが出土している。

SD07 (第 43 図)

南区北半で確認した N110° E の東西溝である。溝の規模は幅 0.40～0.80m、深さ 0.25m である。土層埋土は 2 層に分かれ、上層にはぶい黄色シルト質極細砂、下層にはぶい褐色シルト質極細砂である。遺物は近世と考えられる陶器等が出土している。

SD08 (第 44 図)

南区北半で確認した N105° E の方位をもつ東西溝である。溝の規模は 0.65m、深さ 0.05m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/4) の單一層である。遺物は出土していない。

SD09 (第 45 図)

南区西半の SD04 の西側で確認した南側では N16° E、北側では N8° E と西側に振る南北溝である。SD04 同様、SD01 に並行し、北端および南端では SD01 に切られる。溝の規模は幅 0.65m、深さ 0.10m で残りが悪い。上層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR6/3) の單一層である。遺物は土師質土器小皿・杯、黒色土器椀が出土している。

SD10 (第 52,53 図)

北区西半で確認した N15° E の方位をもつ南北溝である。溝の規模は幅 0.40m、深さ 0.06m である。上層埋土は灰黄褐色シルト (10YR5/2) の單一層である。遺物は土師質土器小皿、備前焼小皿が出土している。

SD11 (第 52,53 図)

北区西半 SD10 の東側で確認した N15° E の方位をもつ南北溝である。SD10 と 0.40m の距離をもち並行することから、同様の性格をもつ溝であると考えられる。溝の北端は調査区外に伸びるため不明であるが、南端は南区に入ったあたりで消滅する。溝の規模は幅 0.45m、深さ 0.10m である。土層埋土は SD10 同様灰黄褐色シルト (10YR5/2) の單一層である。遺物は土師質土器の小皿、杯、混入と考えられる弥生土器の壺底部が出土している。

SD12 (第 54 図)

北区北西端で確認した N105° E の方位をもつ東西溝である。溝の延長は後世の削平により消滅している。溝の規模は幅 0.30m、深さ 0.12m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は出土していない。

SD13 (第 55,56 図)

北区北端で確認した N104° E の方位をもつ東西溝である。両延長部分は後世の削平および擾乱により不明である。溝の規模は 0.24～0.32m、深さ 0.10m である。上層埋土は灰黄褐色シルト質極細砂 (10YR6/2) の單一層である。遺物は須恵質土器の杯が 1 点出土している。

SD14 (第 57,58 図)

北区中央部で確認した N104° E の方位をもつ東西溝である。東側は調査対象外に延び、西側は後世の削平のため幅が狭くなり消滅している。溝の規模は幅 0.20～0.40m、深さ 0.06m と非常に残りが悪い。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は土師質土器の小皿、黒色土器の柄が出土している。

SD15 (第 57,58 図)

北区中央部で確認した N105° E の方位をもち、0.20m の幅をもち SD14 に並行する東西溝である。両

延長とも調査対象外に伸びる。溝の規模は幅 0.30~0.80m, 深さ 0.10m と SD14 同様残りが悪い。土層埋土は SD14 と同様にぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は土師質土器小皿・鍋, 須恵器壺などが出土している。

SD16 (第 59,60 図)

北区南端で確認した N 103° E の方位をもつ東西溝である。後世の削平および攪乱により調査区内で完結する。溝の規模は 0.24~0.30m, 深さ 0.08m と残りが悪い。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は黒色土器の椀が 1 点出土している。

SD17 (第 61,62 図)

北区東半で断続的に確認した南北溝である。後世の削平により残存状況は非常に悪い。溝の規模は場所により異なり南側では幅 0.23m, 深さ 0.06m, 中央部では幅 0.36m, 深さ 0.05m, 北側では幅 0.40m, 深さ 0.07m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR6/4) の單一層である。

遺物は鉄の鍔先が出土している。

SD18 (第 63 図)

北区北拡張部で確認した N 101° E の方位をもつ東西溝である。両延長は攪乱により不明である。上部に浅い広がりが認められるが、溝と考えられる部分は一段低い部分からであると考えられる。溝の規模は一段低い部分で幅 0.40m, 深さ 0.16m である。土層埋土は灰黄褐色シルト質極細砂 (10YR7/3) の單一層である。

SD19 (第 64 図)

北区西半 S B01 の南側で確認した東西溝で全長 2m を確認したのみである。溝の規模は幅 0.30m, 深さ 0.04m と非常に浅い。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂である。遺物は出土していない。S B01 と平行し南側街行との距離が 0.80m と近接していることから、S B01 の雨落ち溝であると考えられる。

SD20 (第 65 図)

北区南端で確認した N 21° E の方位をもつ南北溝である。両延長は攪乱および後世の削平により不明である。溝の規模は幅 0.20m, 深さ 0.06m である。土層埋土は灰黄褐色シルト質極細砂の單一層である。遺物は出土していない。

SD21 (第 66 図)

北区北拡張部で確認した N 105° E の方位をもつ東西溝である。両延長はトレチ外に伸びるため全体の状況は不明である。溝の規模は幅 0.36m, 深さ 0.08m と残りは悪い。土層埋土は灰黄褐色シルト質極細砂の單一層である。

SD22 (第 46 図)

南区南半 S D02 の北側で確認した溝で SD02 に並行する。溝の規模は幅 0.20m, 深さ 0.06m と非常に浅い。S D03 の東側でもその一部を確認した。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR6/3) の單一層である。遺物は出土していない。

SD23 (第 47 図)

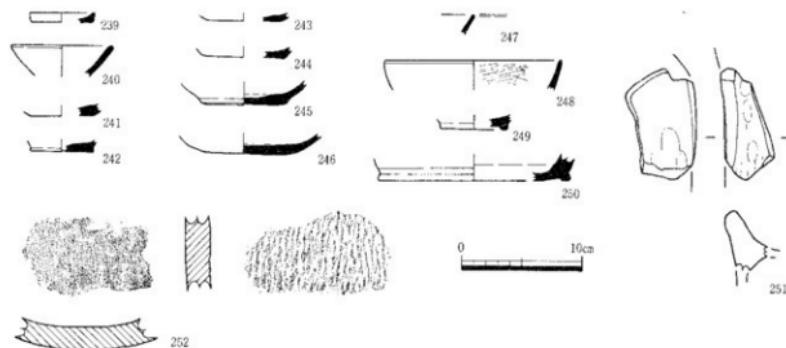
南区北半 S D07 の北側で確認した溝である。溝の規模は幅 0.25m, 深さ 0.15m である。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂の單一層である。遺物は出土していない。

SD24 (第 48, 49 図)

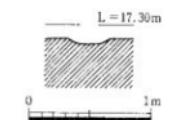
北区東拡張部で確認した溝である。溝の断面形状から西は浅くゆるやかで東が深くなる。距離は離れるが、規模および断面形状・土層埋土から SD03 と同一の溝であると考えられるが、距離も離れていることから、ここでは別の溝として報告する。溝の規模は幅 1.10m, 深さ 0.20m である。土層埋土は 2 層に分かれ、上層はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/4), 下層は灰黄褐色シルト質極細砂 (10YR6/2) である。遺物は土師質土器小皿・杯が出土している。

SD25 (第 50,51 図)

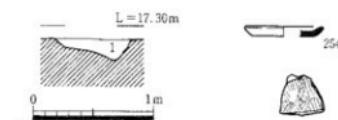
北区東拡張部で確認した溝である。確認範囲が狭いことから、全体の状況は不明である。溝の規模は幅 0.50m, 深さ 0.10m である。土層埋土は暗黄褐色粗砂である。遺物は土師質土器の小皿が出土している。



第38図 SD 0 4出土遺物実測図



第39図 SD 0 5断面図



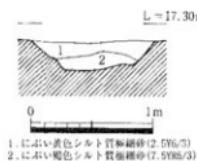
第40図 SD 0 5出土遺物実測図



第41図 SD 0 6土層図



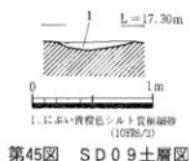
第42図 SD 0 6出土遺物実測図



第43図 SD 0 7土層図



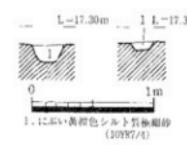
第44図 SD 0 8土層図



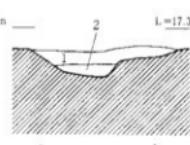
第45図 SD 0 9土層図



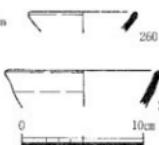
第46図 SD 2 2土層図



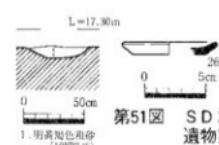
第47図 SD 2 3土層図



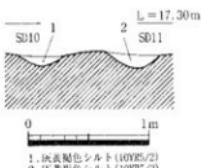
第48図 SD 2 4土層図



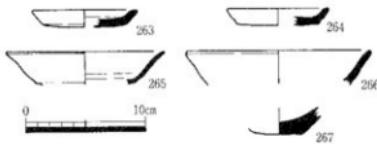
第49図 SD 2 4出土遺物実測図



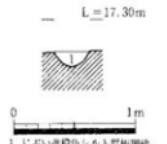
第50図 SD 2 5出土遺物実測図



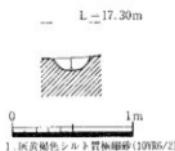
第52図 SD 10 + 11
断面図



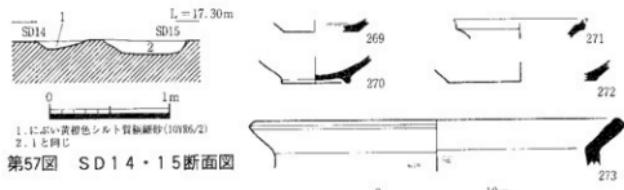
第53図 SD 10 + 11出土遺物実測図



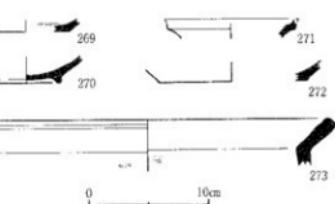
第54図 SD 12断面図



第55図 SD 13断面図



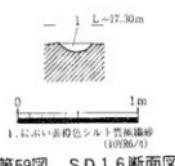
第57図 SD 14 + 15断面図



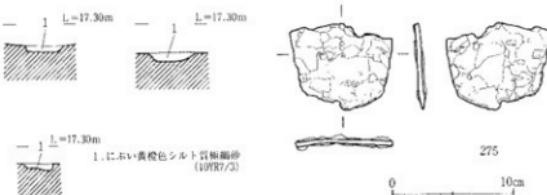
第58図 SD 14 + 15出土遺物実測図



第56図 SD 13
出土遺物実測図



第59図 SD 16断面図

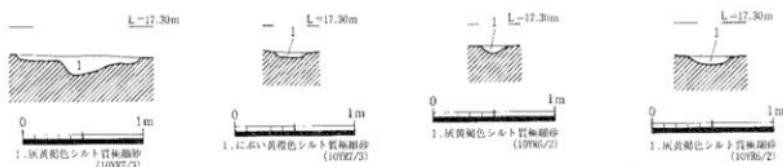


第62図 SD 17出土遺物実測図



第60図 SD 16
出土遺物実測図

第61図 SD 17断面図

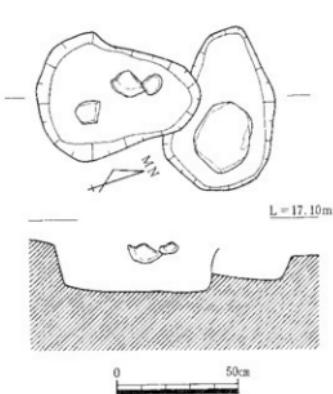


第63図 SD 18断面図

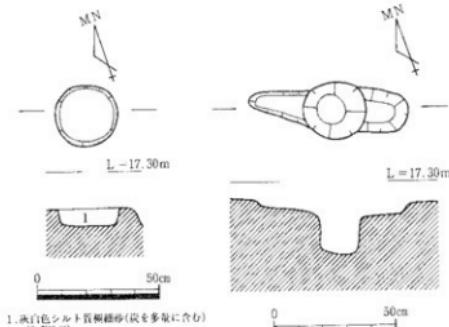
第64図 SD 19断面図

第65図 SD 20断面図

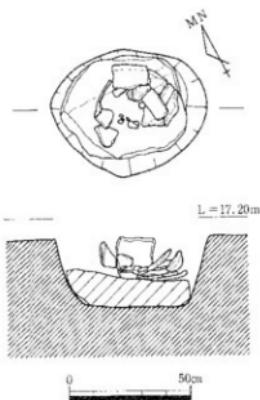
第66図 SD 25断面図



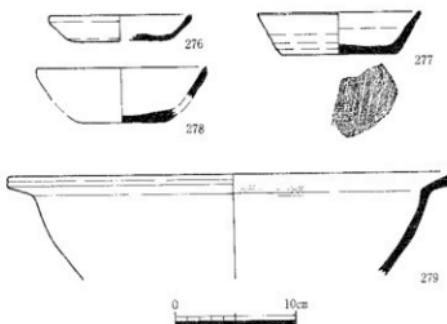
第67図 N P 87・88遺物出土状況図



第68図 S P 04平・断面図 第69図 S P 05平・断面図



第70図 S P 48遺物出土状況図



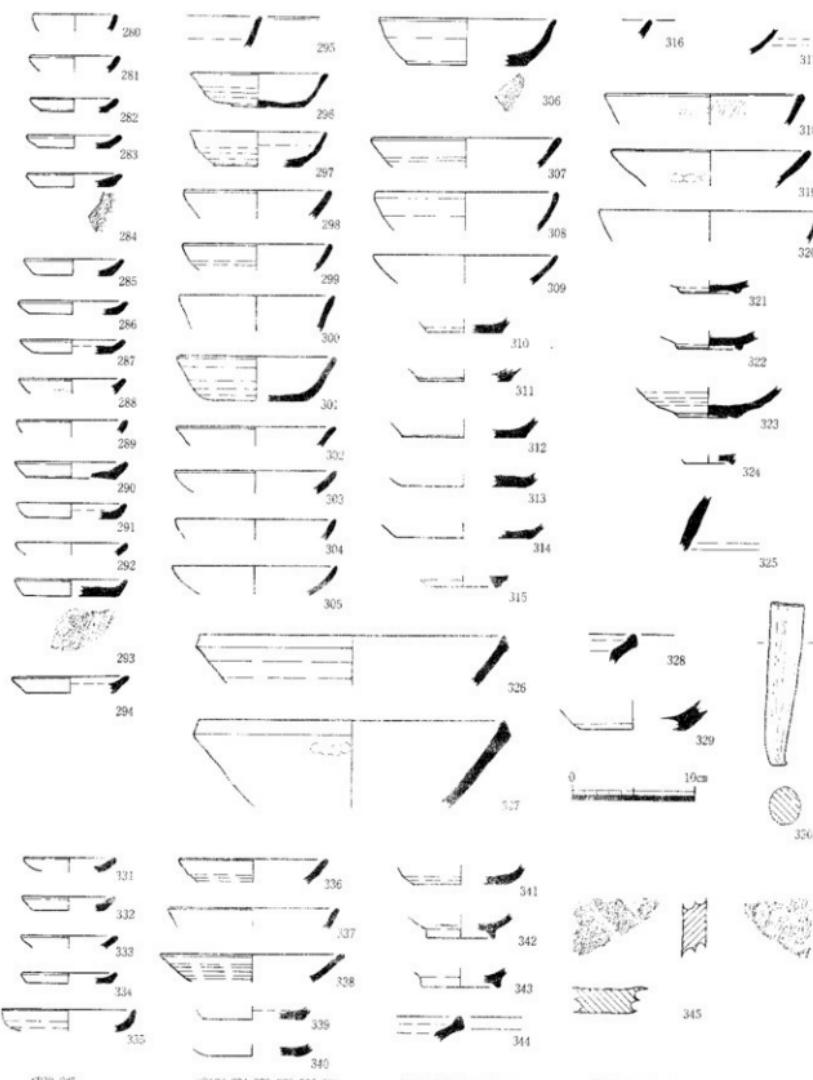
第71図 S P 48出土遺物実測図

北区柱穴（第72図、第1,2表）

北区では多くの柱穴と考えられるピットを検出し、多くの遺物を確認した。その多くは掘立柱建物として復元できたが、遺物を多く出土しながら建物を復元できなかったピットも存在する。ここでは特異なピットについてはその状況を記述したが、それ以外については遺物実測図を提示し、柱穴の規模、埋土等は一覧表にまとめるにとどめた。

南区柱穴（第72図、第3表）

南区でも北区ほど多くはないが、掘立柱建物を構成しないピットを確認している。北区同様特異なピットのみを記述し、それ以外は各柱穴出土遺物実測図およびピットの規模、土層埋土等を一覧表にまとめるにとどめた。



第77圖
桂穴出土遺物實測圖

NF38 265
NF21 313
NP54 291
NF70 294-326
NF74 312
NF81 287-305-320-328
NF81 297-299
NP54 329

NP103 284-322-325-326-330
NP119 304-307-317
NP116 281-324
NP126 314
M. 319-511
NP117 288-492
NP118 302-286-296
NP169 315

NP149 280-309-316-318
NP152 302-321
NP154 293-295-298-300-301
NP157 306-308-319-327
NP159 283-290

SP3 334-341-343
SP35 337-340
SP41 331-333-336-338-342-344
SP43 332-335-345
SP58 339

SPO4 (第 68 図)

南区南端の S D02 内で確認した円形のピットである。規模は直径 0.25m、深さ 0.07m であり、土層埋土は炭を多量に含むシルト質極細砂 (2.5Y8/2) である。遺物は出土していない。

SPO5 (第 69 図)

南区で確認した楕円形を呈するピットである。規模は東西 0.26m、南北 0.23m、深さ 0.22m である。土層埋土は多量の焼土塊をブロック状に含むシルト質極細砂 (10YR6/4) である。遺物は出土していない。

SP29

南区南東部で確認した楕円形を呈するピットである。規模は東西 0.40m、南北 0.30m、深さ 0.05m と非常に浅い。土層埋土はにぶい黄橙色シルト質極細砂 (10YR7/2) で炭、焼土を含む。遺物は出土していない。

SP48 (第 70, 71 図)

南区で確認した楕円形を呈するピットである。規模は長軸 0.32m、短軸 0.26m、深さ 0.15m である。土層埋土は灰黄褐色シルト質極細砂 (10YR5/2) の單一層である。ピットの底面にほぼ床面と同規模の砂岩を置き、その上から土師質土器の鍋が伏せられた状態で出土した。鍋の中から方形に近い土師質土器の杯が破片となって 3 点出土したが、土師質土器の杯は焼成が悪く軟質であることから、残念ながら本末の状態にまで接合できていない。周辺部にはピットが 2 基あるが建物を構成するピットとは考えられず、いわゆる土器埋納遺構と呼ばれる地鎮を執り行った痕跡と土器の出土形態が同じであることから、同様の遺構であると考えられる。

SRO1 (第 73 図)

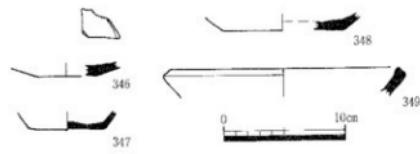
南区南東部および北区東拡張部で西岸の一部分を確認した旧河道である。規模は幅 20m 以上、深さ 0.90m 以上である。旧河道の流路方向は西肩の検出状況より南西から北東方向に流れるようである。直行方向に作成した土層図がないため、正確な十層堆積は観察できないが、調査区東壁で作成した上層図によると、土層堆積は上層である 7~9 層がシルト質極細砂、中層である 10~12 層シルト混じりの粗砂~小礫、下層である 12~15 層が粗砂混じりのシルトである。一部 S D02 等の流れ込みによる堆積が認められるが、上層から下層まで、ほぼ水平堆積が認められることから、徐々に堆積していくことが観察できる。発掘した面積の割に遺物の出土は少なく、下層から上層までで出土した土器に時期差はないものと考えられる。

黒褐色包含層出土遺物 (第 74 図)

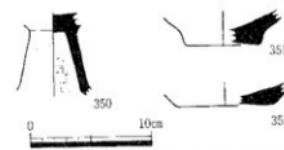
当遺跡の北区から南区の東側ではベースである灰褐色粗砂まじりシルト (7.5YR4/2) の上面において部分的に黒褐色粗砂まじりシルト (10YR2/2) が残存している箇所があり、平面では明確な遺構として確認できなかったが、この包含層より弥生時代中期後半から古墳時代前期にかけての土器を若干量ながら確認した。この包含層以外の遺構からも、この時代の遺物が混在して出土している。出土した土器のうち、弥生時代後期から古墳時代前期の土器はあまり摩滅していないことから、近くに同時期の遺構が存在するものと考えられる。

南区中央擾乱土坑出土遺物 (第 75 図)

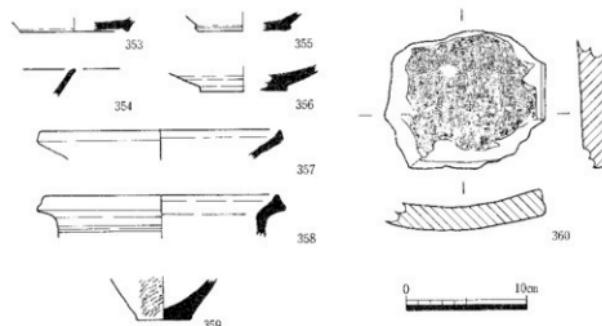
南区中央部では旧川東団地造成時に伴うものか、もしくはそれ以前のものか不明であるが、広範囲にしかも深く遺構が破壊されていた。調査開始後、擾乱の下に古い遺構が存在している可能性が考えられたため、上部の擾乱を除去していった。この段階で近世以降の遺物に混じって古代の遺物が多量に出土したことから、古い遺構が残存している可能性が考えられた。結果的には擾乱が深く及んでいたため、擾乱の下からは古い遺構は確認できなかった。前述のように出土した古代と考えられる遺物の中には、縁軸陶器など当遺跡では、ここ以外での出土が認められないものもあることから、明確な遺構に伴うものではないが、ここに報告する。



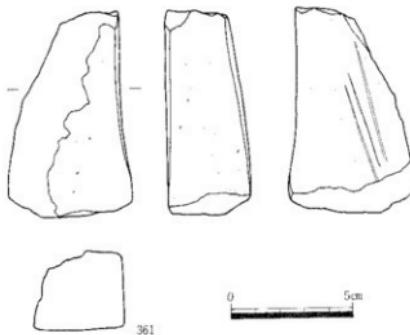
第73図 SR 1出土遺物実測図



第74図 黒褐色包含層出土遺物実測図



第75図 南区中央擾乱土坑出土遺物実測図



第76図 NP 87付近表採遺物実測図

第4章まとめ

第1節 遺構の変遷について

由良南原遺跡で確認された遺構について出土した遺物から各時期毎の変遷をみていきたい。この場合問題になるのは、北区西側や南区中央部で大規模な搅乱があり、残存している遺構の状況から確認された遺構以外にも遺構が存在した可能性が十分考えられるが、今現在それを確認するすべはない。遺跡全体の状況を考える上で正確さに欠けるが、大まかな傾向として各時期の遺構の状況を見てみたい。土器の年代観のうち、特に中世については、地理的にも近い空港跡地遺跡中世土器編年表（佐藤2000）を参考にした。

弥生～古墳時代

明確な遺構は確認していないが、黒褐色粗砂混じりシルト中や各遺構に混在する状態で、弥生時代前期から古墳時代前期にかけての遺物が出土しており、土器の表面があまり摩滅していないことから、近隣に当該期の遺構が存在するものと考えられる。

古代

後世の搅乱により明確な遺構を確認していないが、南区中央部の搅乱から縁軸陶器が2点川土している他、各遺構に混じって須恵器の杯・壺底部等が出土している。当該期にも近隣に遺構が存在するものと考えられる。

中世1期

佐藤編年I－3期（12c第1四半期～第2四半期）に該当する。SD01・02・03 出土遺物の中にこの期に該当する遺物が含まれることから、この時期より機能していたものと想定できる。SD01は春日川から微高地に水を供給するための幹線水路と考えられる。SD01を南側に延長すると現在春日川の東側にある水路の屈曲部にある。この部分からSD01は水を取水し北側に水を流していたものと想定できる。SD02はその水を分歧し、SD03やSR01が埋没していく段階でつくられた水田に水を供給していた。SD02については、平面・断面の状況から複数回の付け替えが認められる。確認した範囲は一部分であるが微高地の水掛かりの一端を知ることができる。調査対象地の東に広がる旧河道は、数少ない出土遺物からみて中世全般を通して徐々に埋没していく状況が認められる。

中世2期

佐藤編年II－1期（12c第3四半期～第4四半期）に該当する。数少ない出土遺物から南区SD04、北区SD10・11が機能していたものと想定できる。前述のSD01・02・03についても出土遺物からその継続した使用が認められる。試掘調査時SD10から焼土塊が確認され鉄屑の出土と合わせて鍛冶関係の遺構を想定したが、本調査時には確認していない。

中世3期

佐藤編年II－2期（13c第1四半期）に該当する。出土遺物から当該期に掘立柱建物SB02が構築されたことがわかる。この他、前述の幹線水路と考えられる溝は同様に機能していたようである。

中世4期

佐藤編年II－3期（13c第2四半期～第3四半期）に該当する。掘立柱建物SB01が構築されたことがわかる。前述のとおり建物規模は当遺跡最大であるのに加え、柱の配置も特異な建物である。この建物の特徴としては柱穴の平面規模に比べ、柱穴が深いことがあげられる。柱穴の深さから上部の建物構造としては普通の住居とは考えられず、出土遺物から裏打ちされるような根拠はないが、神社や御堂などのような上部が重量のあるもののかたは柱が高い建物が想定できる。

SB01に重複して確認されたSB05についても、この時期か一段階古い時期に構築されたものと考えられる。南区ではSK06、地鎮遺構SP48などが認められ、後世の削平等により住居遺構は復元できないが、柱穴と考えられるピットも認められることから、この時期に南区で住居遺構が存在した可能性が考えられる。

中世5期

佐藤編年II－4期（13c第3四半期～第4四半期）に該当する。他の建物と方向を異にする掘立柱建物SB04が構築される。この建物遺構は一部分を確認したにとどまり、建物遺構の全容は東に広が

ることが想定されるため、建物の規模は不明である。SK05などがこの時期に該当するが、前時期に比べ遺構数は減少する。

中世 6 期

佐藤編年 II - 5 期（13c 末葉～14c 前葉）に該当する。遺構はさらに減少し、当該期の遺構は SK04 の他、前時期からの継続が認められる SD01・02・03 が存在するのみで、集落としての機能は終了しているようである。

中世 7 期

佐藤編年 III 期前半（14c 世纪代）に該当する。南区で人骨の出土から火葬墓と考えられる SK02 が認められる以外に新たに出現する遺構は存在しない。他に墓と想定できる遺構は認められないことから、墓域ではないようである。他の遺構は SD01・03 に一部この時期に該当する遺物が認められることから、水路としては機能しているようである。

近世

SE01・02, SD07・08 が該当する。SE01 は素掘りの井戸、SE02 は土製の筒型を 2 段に積み上げ非側にしたものである。SD07 は深くしっかりとしたものであるが、SD08 は非常に浅い。いずれも耕作に伴う施設と考えられる。

第 2 節 錫冶遺構について

試掘調査第 1 トレンチから鉄滓、試掘調査第 7 トレンチ SD02 からは焼土塊が出土したことから本調査では錫冶遺構の確認も想定されたが、本調査では錫冶遺構は確認されず、試掘調査第 7 トレンチ SD02 の続きである SD10 からも本調査では焼土塊は出土していない。鉄滓を確認した第 1 トレンチに近い南区では、焼土ブロックを多量に含む SP05, 炭を多量に含む SP04, 烧土・炭を含む SP29 などを確認しているが、これをもって錫冶遺構を想定できるものではない。以上のような調査結果から当調査区内では錫冶に関係する遺構は認められなかったが、試掘調査で出土した鉄滓の存在と周辺部の遺跡の状況が今一つ不明なことを考えるならば、現段階では近隣に錫冶関係遺構の存在する可能性を想定するにとどめておきたい。

第 3 節 出土遺物について

発掘調査により各遺構から多くの遺物が出土したが、特筆すべきは、出土量こそ少ないが、SD01 をはじめ調査地全域から瓦片が出土していることである。紙数の関係から一部を図化するにとどめたが、出土した瓦は丸瓦および平瓦の破片で軒瓦の出土はない。当遺跡出土の瓦が 1,2 片の出土で摩滅を受けていれば他所からの混入も考えられるが、今回出土した瓦の量より他所からの混入とは考えられない。この由良南原遺跡で確認された建物跡のうち、唯一瓦葺きの可能性が考えられるのは SB01 である。遺構の項でも述べたが SB01 は北側と南側に庇を持つ建物で、建物の形態および柱穴の規模、各柱穴からの遺物量等、他の掘立柱建物跡が住居遺構と考えられるのに対して、SB01 は建物の構造が特異であることから、小規模な御堂、社などの施設が考えられる。瓦の出土量から總瓦葺きの建物跡は復元できないものの、突斗棟のみに瓦を葺くのであれば、十分可能性は考えられる。今回出土した瓦は破損して再利用できずに投棄されたものであり、これ以外の使える瓦は別の場所に移動したものと考えられる。

参考文献

佐藤龍馬 「高松周辺地域における中世土器の編年」『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 4 冊 空港跡地遺跡 IV』香川県教育委員会 (財) 香川県埋蔵文化財調査センター 香川県土地開発公社 2000

柱穴番号	柱穴規模(m)	土層 塗土	出土 遺物	備考
NP01	0.28 0.18	0.15 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP02	0.17	0.09 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP03	0.26 0.15	0.09 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP04	0.23 0.18	0.11 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP05	0.30 0.21	0.08 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP06	0.18	0.03 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP07	0.23 0.20	0.15 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP08	0.16	0.07 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP09	0.24 0.19	0.16 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP10	0.16	0.05 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP11	0.19 0.17	0.42 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP12	0.12 0.10	0.14 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP13	0.40 0.28	0.27 [ふい、黄褐色シルト質塗土] (黒褐色シルトをブロック状に含む)		
NP14	0.24 0.22	0.24 [黒褐色シルトをブロック状に含む]		
NP15	0.18 0.16	0.13 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP16	0.27 0.19	0.29 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP17	0.32 0.30	0.75 [ふい、黄褐色シルト質塗土]	土蔵質土器 杯	S B 0.2 杯
NP18	0.16 0.13	0.13 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP19	0.34 0.29	0.54 [黒褐色シルトをブロック状に含む]		
NP20	0.44 0.42	0.15 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP21	0.19	0.09 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP22	0.19 0.16	0.13 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP23	0.28 0.26	0.51 [ふい、黄褐色シルト質塗土]	土蔵質土器 杯	S B 0.2 杯
NP24	0.24 0.18	0.24 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP25	0.12	0.30 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP26	0.22 0.20	0.09 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP27	0.25 0.23	0.19 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP28	0.30	0.09 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP29	0.36 0.31	0.28 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP30	0.18	0.11 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP31	0.24 0.22	0.06 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP32	0.13 0.10	0.10 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP33	0.70 0.55	0.34 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP34	0.25 0.23	0.05 [黒褐色シルト質塗土]		
NP35	0.40 0.37	0.34 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP36	0.28 0.24	0.32 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP37	0.54 0.32	0.65 [ふい、黄褐色シルト質塗土]	土蔵質土器 小皿、こね跡	S B 0.2 杯
NP38	0.40 0.38	0.22 [黒褐色シルト質塗土]	土蔵質土器 小皿	S B 0.2 杯
NP39	0.35 0.31	0.35 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP40	0.32 0.30	0.12 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP41	0.32 0.28	0.26 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP42	0.33 0.30	0.69 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP43	0.41 0.31	0.45 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP44	0.24 0.23	0.10 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP45	0.22 0.17	0.05 [黒褐色シルトをブロック状に含む]		
NP46	0.38 0.32	0.16 [ふい、黄褐色シルトをブロック状に含む]		
NP47	0.23	0.21 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP48	0.22 0.15	0.06 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP49	0.23 0.15	0.05 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP50	0.31 0.24	0.35 [黒褐色シルト質塗土]		
NP51	0.27 0.24	0.06 [黒褐色シルト質塗土] (模様をもつ)	土蔵質土器 杯	
NP52	0.30 0.25	0.15 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP53	0.43 0.32	0.19 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP54	0.30 0.25	0.17 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP55	0.25 0.22	0.10 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP56	0.24 0.22	0.36 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP57	0.26 0.21	0.03 [ふい、黄褐色シルト質塗土]		
NP58	0.64 0.42	0.65 [黒褐色シルト質塗土]		
NP59		広葉樹の殻		
NP60	0.25 0.22	0.23 [広葉樹の殻]		
NP61	0.18 0.16	0.11 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP62	0.25 0.21	0.36 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP63	0.25 0.15	0.26 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP64	0.31 0.25	0.41 [広葉樹の殻シルト質塗土]	土蔵質土器 杯	S B 0.1 杯
NP65	0.37 0.35	0.14 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP66	0.19 0.17	0.28 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP67	0.30 0.24	0.07 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP68	0.37 0.27	0.31 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP69	0.21 0.18	0.15 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP70	0.25 0.20	0.26 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP71	0.25 0.13	0.15 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP72	0.17 0.15	0.37 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP73	0.25 0.14	0.16 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP74	0.25 0.23	0.41 [広葉樹の殻シルト質塗土]	土蔵質土器 杯	S B 0.1 杯
NP75	0.28 0.17	0.21 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP76	0.21 0.18	0.21 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP77	0.16 0.13	0.10 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP78	0.25 0.22	0.23 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP79	0.34 0.29	0.46 [広葉樹の殻シルト質塗土]		
NP80	0.37	0.57 [広葉樹の殻シルト質塗土]		

第1表 北区柱穴一覧表(1)

柱穴番号	柱穴規格(m)	土層埋土	出土遺物	備考
NP51	0.75 0.38	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	SB 0.1柱穴
NP52	0.20 0.15	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	
NP53	0.32 0.24	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	
NP54	0.39 0.36	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	
NP55	0.23 0.21	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	
NP56	0.42 0.31	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	SB 0.1柱穴
NP57	0.68 0.50	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、杯、壺、須恵質土器 棘	SB 0.1柱穴
NP58	0.70 0.50	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP59	0.52 0.30	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP60	0.25 0.22	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP91	0.58 0.30	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP92	0.36 0.33	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、瓦器、楕	SB 0.5柱穴
NP93	0.14	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP94	0.32 0.22	灰褐色色シルト質粘土	瓦質土器 こね鉢	
NP95	0.33 0.28	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿、楕、須恵質土器 こね鉢	SB 0.5柱穴
NP96	0.22 0.18	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP97	0.38 0.26	灰褐色色シルト質粘土 (黒褐色色シルトをブロッキ状に含む)	土師質土器 小皿、須恵質土器 棘	SB 0.5柱穴
NP98	0.32 0.20	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	SB 0.1柱穴
NP99	0.37	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	SB 0.1柱穴
NP100	0.37 0.24	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	SB 0.1柱穴
NP101	0.38 0.32	灰褐色色シルト質粘土	土師質土器 小皿	
NP102	0.28 0.25	0.20		
NP103	0.35 0.35	0.14		
NP104	0.49 0.40	0.36		
NP105	0.38 0.32	0.38		
NP106	0.26 0.21	0.34		
NP107	0.29 0.23	0.08		
NP108	0.33 0.22	0.26		
NP109	0.28 0.26	0.45		
NP110	0.52 0.38	0.33		
NP111	0.20 0.15	0.32		
NP112	0.22 0.18	0.16		
NP113	0.25 0.11	0.19		
NP114	0.24	0.34		
NP115	0.13	0.07		
NP116	0.17	0.06		
NP117	0.32 0.28	0.43		
NP118	0.40 0.33	0.36		
NP119	0.17	0.34		
NP120	0.27	0.22		
NP121	0.16 0.14	0.17		
NP122	0.15	0.33		
NP123	0.18 0.13	0.36		
NP124	0.21 0.17	0.10		
NP125	0.24 0.22	0.39		
NP126	0.29 0.27	0.11		
NP127	0.26 0.22	0.06		
NP128	0.28 0.24	0.02		
NP129	0.22	0.18		
NP130	0.25	0.25		
NP131	0.19 0.16	0.12		
NP132	0.63	0.33		
NP133	0.23 0.20	0.31		
NP134	0.18 0.15	0.19		
NP135	0.30 0.25	0.21		
NP136	0.25 0.23	0.19		
NP137	0.31	0.31		
NP138	0.32 0.26	0.21		
NP139	0.33 0.30	0.40		
NP140	0.38 0.36	0.28		
NP141	0.23 0.20	0.14		
NP142	0.30 0.28	0.42		
NP143	0.28 0.26	0.48		
NP144	0.18 0.15	0.24		
NP145	0.26 0.20	0.23		
NP146	0.21 0.18	0.26		
NP147	0.27	0.19		
NP148	0.21 0.19	0.14		
NP149	0.26 0.23	0.14		
NP150	0.30 0.20	0.12		
NP151	0.23	0.27		
NP152	0.21 0.19	0.22		
NP153	0.48 0.45	0.52		
NP154	0.35 0.31	0.56		
NP155	0.53 0.49	0.46		
NP156	0.61 0.39	0.57		
NP157	0.47 0.39	0.42		
NP158	0.36 0.25	0.38		
NP159	0.25 0.20	0.08		
NP160	0.80	0.64	0.44	
NP161	0.22	0.19	0.12	
NP162	0.22	0.20	0.12	
NP163	0.18	0.08		

第2表 北区柱穴一覧表(2)

柱穴番号	柱穴規格(m)			土層 埋土	出土 遺物	備 考
	長径	短径	深さ			
SP01	0.25	0.16	0.12	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂 (黒褐色シルト質粘土ブロック状に含む)		
SP02	0.17	0.14		こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP03	0.18	0.15	0.28	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂	土師質土器 小皿、杯、黑色土器 瓶	
SP04	0.25			灰白色シルト質粘土細砂 (砂を多量に含む)		
SP05	0.26	0.23	0.22	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂 (砂にブロック状を含む)		
SP06	0.25	0.23	0.25	灰褐色シルト質粘土細砂		
SP07	0.19	0.18	0.04	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP08	0.16	0.12	0.05	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP09	0.21	0.18	0.04	こぶ、黃褐色シルト質粘土細砂		
SP10	0.84	0.4	0.05			
SP11	0.48	0.41	0.07	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP12	0.3	0.26	0.11			
SP13	0.53	0.41	0.09	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP14	0.19	0.17	0.03	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP15	0.13		0.04	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP16	0.15	0.13	0.04	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP17	0.3	0.28	0.25	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP18	0.19	0.18	0.07	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP19	0.26	0.24	0.13	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP20	0.17	0.16	0.12	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP21	0.56	0.48	0.19			
SP22	0.25	0.12	0.04	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP23	0.21	0.21	0.05	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP24	0.3	0.25	0.19	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP25	0.35	0.31	0.15	淡黄色シルト質粘土細砂		
SP26	0.27	0.25	0.12	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP27	0.17	0.16	0.07	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP28	0.17	0.16	0.07	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP29	0.38	0.28	0.05	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂 (崩、成土を含む)		
SP30	0.2	0.2	0.05	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP31	0.31	0.19	0.08	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP32	0.52	0.43	0.07	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP33	0.91	0.4	0.15	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP34	0.29	0.27	0.21	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		SB04柱穴
SP35	0.27	0.23	0.36		土師質土器 瓶	
SP36	0.21	0.28	0.22	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂	土師質土器 杯	SB04柱穴
SP37	0.2	0.16	0.29	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP38	0.32	0.26	0.28	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP39	0.34	0.32	0.38	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP40	0.47	0.22	0.39	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP41	0.21	0.21	0.33	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂	土師質土器 小皿、瓶、古墳式土器頭輪、土器頭部	
SP42	0.16	0.15	0.11	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP43	0.49	0.3	0.31	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂 (崩壊したコロイ状に含む)	二施質土器 小皿、平皿	
SP44	0.15	0.13	0.08	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP45	0.28	0.17	0.1	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP46	0.34	0.26	0.07	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP47	0.21	0.18	0.18	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP48	0.32	0.26	0.15	火薙窯在シルト質粘土細砂	土師質土器 瓶、瓢	上器汚泥遺物
SP49	0.2	0.16	0.28	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP50	0.43	0.26	0.2	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP51	0.32	0.23	0.29	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP52	0.37	0.34	0.49	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP53	0.29	0.14	0.21	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP54	0.25	0.25	0.08	水草名シルト質粘土細砂		
SP55	0.28	0.24	0.21	水草名シルト質粘土細砂		
SP56	0.25	0.24	0.18	水草名シルト質粘土細砂		
SP57	0.25	0.23	0.12	水草名シルト質粘土細砂		
SP58	0.41	0.24	0.27	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂	二施質土器 杯	
SP59	0.25	0.22	0.36	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP60	0.28	0.26	0.35	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP61	0.2	0.2	0.21	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP62	0.21	0.18	0.15	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP63	0.79	0.26	0.19	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP64	0.35	0.32	0.05	こぶ、黄褐色シルト質粘土細砂		
SP65	0.23	0.18	0.49			
SP66	0.26	0.18	0.12			
SP67	0.25	0.23	0.08			
SP68	0.22	0.18	0.16			
SP69	0.33	0.24	0.15			
SP70	0.73	0.21	0.17			
SP71	0.55	0.41	0.03			
SP72	0.28	0.18	0.16			
SP73	0.19	0.18	0.1			
SP74	0.69	0.47	0.51			
SP75	0.13		0.07			
SP76	0.2		0.14			
SP77	0.25		0.2			SB04柱穴

第3表 南区柱穴一覧表

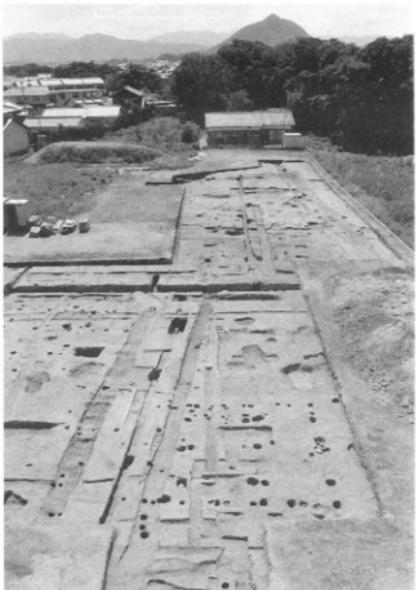
出土遺物観察表

番号	器種	法寸(cm)	形態・特徴	色・調		施土
				外	内	
1	土師質土器 小皿	(1.1)	内外面ナメ	にぶい黒10VR7/4	にぶい黒10VR7/4	密 1mm以下の石英、長石、少量のクオリティ含む
2	土師質土器 小皿	8.4	(1.2) 内外面ナメ	浅黄緑10YR8/3	浅黄緑10YR8/3	密 1mm以下の石英、0.5mm以下の長石を含む
3	土師質土器 小皿	9.0	7.2 1.1 (1.4) 内外面ナメ	褐5YR7/6	褐5YR7/6	密 1mm以下の石英、長石、クオリティ多量含む
4	土師質土器 小皿	11.2	内外面ナメ	褐7.5YR7/6	褐7.5YR7/6	密
5	土師質土器 小皿	9.0	7.0 1.3 (1.4) 内外面ナメ	灰白7.5YR7/2	灰白7.5YR7/2	密 1mm以下の石英、長石、クオリティ多量含む
6	土師質土器 小皿	9.5	8.0 1.1 (1.4) 内外面ナメ	灰褐7.5YR7/5	灰褐7.5YR7/5	密 1mm以下の石英、長石、クオリティ多量含む
7	土師質土器 小皿	11.0	(2.0) 内外面ナメ、外側ハケ	褐灰7.5YR7/1	明褐色7.5YR7/2	密 1mm以下の石英、1mm以下の長石、クオリティ含む
8	土師質土器 小皿	11.8	(1.6) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR6/4	褐5YR6/6	1mm以下の石英、長石を含む
9	土師質土器 杯	7.3	(1.6) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	密 1mm以下の石英、0.5mm以下の長石、多量のクオリティ含む
10	黑色土器 楕	5.6	(1.0) 内外面ナメ	灰白N7	白10YR7/6	やや粗 1mm以下の石英を多量含む
11	酒巻器 杯	12.8	(1.5) 内外面ナメ	褐5Y6/1	褐5Y6/1	密 0.5mm以下の長石を少量化
12	酒巻器 杯	6.3	3.1 (1.4) 内外面ナメ	褐7.5Y6/1	褐7.5Y6/1	密 1mm以下の長石を含む
13	酒巻質土器 杯	18.0	(2.4) 内外面ナメ、外側面カズリ 内面ミガニ	灰白5Y6/1	灰白5Y6/1	密 1mm以下の長石を含む
14	燒前焼 磁	13.2 (1.7)		にぶい黒10YR7/3	にぶい黒10YR7/3	やや密 1mm以下の石英、1mm以下の長石を含む
15	酒巻質土器 二脚鉢	8.2	(2.0) 内外面ナメ	灰白2.5Y8/1	灰白2.5Y8/1	0.5mm以下の長石を含む
16	土師質土器 杯	12.8	(2.4) 内外面ナメ	浅黄10YR8/6	浅黄10YR8/6	密 1mm以下の石英、長石、少量のクオリティ含む
17	土師質土器 杯	12.9	(3.0) 内外面ナメ	褐灰10YR8/7	褐灰10YR8/7	密 1mm以下の石英、0.5mm以下の長石を含む
18	土師質土器 杯	12.6	(2.5) 内外面ナメ	浅黄10YR8/4	にぶい黒10YR7/3	密 1mm以下の石英、1mm以下の長石、少量含む
19	土師質土器 杯	8.8	(1.1) 内外面ナメ	灰白10YR7/2	白10YR7/2	密 1mm以下の石英、長石、少量化
20	土師質土器 小皿	8.0	(1.1) 内外面ナメ	褐5YR7/6	褐5YR7/6	密 1mm以下の長石、クオリティ 多量の金属鉱物含む
21	土師質土器 杯	9.2	(1.7) 内外面ナメ	黄褐7.5YR7/8	褐7.5YR7/6	0.5mm以下の長石を含む、少量のクオリティ含む
22	燒津					
23	燒津					
24	土器					
25	瓦盤 小皿	3.4	(1.3) 内外面ナメ	褐灰10YR6/1	褐灰10YR6/1	密
26	土師質土器 小皿	3.4	5.4 1.0 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/3	密 2mm以下の石英、0.5mm以下の長石含む
27	土師質土器 小皿	7.2	4.8 1.3 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR6/4	浅黄褐7.5YR6/4	密 1mm以下の長石、長石、少量化含む
28	土師質土器 小皿	7.3	8.3 1.4 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/2	にぶい黒7.5YR7/2	密 2mm以下の長石を含む
29	土師質土器 小皿	7.6	(1.4) 内外面ナメ	明褐色7.5YR7/5	にぶい黒10YR7/4	石正雲母を少量含む
30	土師質土器 小皿	8.2	8.3 1.4 内外面ナメ	褐7.5YR7/6	褐7.5YR7/6	密
31	土師質土器 小皿	8.2	6.6 1.3 内外面ナメ	褐7.5YR7/6	褐7.5YR7/6	0.5mm以下の石英、長石、暗赤色を含む
32	土師質土器 小皿	8.2	6.0 1.1 内外面ナメ	褐7.5YR7/6	褐7.5YR7/6	密 1mm以下の長石、0.5mm以下のクオリティを少量含む
33	土師質土器 小皿	8.4	(1.5) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR8/3	浅黄褐7.5YR8/3	密 1mm以下の長石を少量化
34	土師質土器 小皿	8.6	6.0 1.4 内外面ナメ、裏面造跡	にぶい黒7.5YR7/3	にぶい黒7.5YR7/3	1mm以下の石英、長石を含む
35	土師質土器 小皿	8.2	3.5 1.9 内外面ナメ、裏面造跡	灰白10YR7/2	灰白10YR7/2	1mm以下の石英、長石を含む
36	土師質土器 小皿	8.9	7.2 1.7 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の長石を少量化
37	土師質土器 小皿	8.7	6.3 1.0 内外面ナメ、裏面造跡	浅黄褐7.5YR8/4	浅黄褐7.5YR8/4	1mm以下の石英、長石を多量に含む
38	土師質土器 小皿	8.8	7.0 1.2 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR8/3	浅黄褐7.5YR8/3	0.5mm以下の長石を少量化
39	土師質土器 小皿	8.9	1.2 1.2 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR8/3	浅黄褐7.5YR8/3	1mm以下の長石を少量化
40	土師質土器 小皿	8.8	6.5 1.5 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	2mm以下の石英、長石を含む、2mm以下のクオリティを多量に含む
41	土師質土器 小皿	9.5	7.4 1.1 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR7/2	浅黄褐7.5YR7/2	1mm以下の長石、クオリティ、まれに1mm以下の雲母を含む
42	土師質土器 小皿	6.7	(1.5) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を少量化
43	土師質土器 小皿	10.2	8.6 1.4 内外面ナメ	褐7.5Y7/5	褐7.5Y7/5	1mm以下の石英、長石を含む
44	土師質土器 小皿	10.5	7.0 1.5 内外面ナメ	褐7.5Y7/6	褐7.5Y7/6	0.5mm以下の石英、長石を多量に含む
45	土師質土器 小皿	10.3	(1.3) 内外面ナメ	褐7.5Y7/8	褐7.5Y7/8	1mm以下の石英、長石を少量化
46	土師質土器 陶器	10.9	(2.7) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR7/3	浅黄褐7.5YR7/3	1mm以下の石英、長石を少量化
47	土師質土器 小皿	11.0	(1.4) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR8/3	浅黄褐7.5YR8/3	1mm以下の石英、長石、少量化
48	土師質土器 陶器	11.1	(2.1) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR7/6	浅黄褐7.5YR7/6	1mm以下の長石、クオリティ、まれに1mm以下の雲母を含む
49	土師質土器 小皿	11.8	(1.7) 内外面ナメ	褐7.5Y7/8	褐7.5Y7/8	1mm以下の長石、長石を含む
50	土師質土器 陶器	12.2	(1.6) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/2	にぶい黒7.5YR7/2	1mm以下の長石、長石を含む
51	土師質土器 陶器	11.8	7.3 3.4 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR7/2	浅黄褐7.5YR7/3	1mm以下の石英を多量に含む
52	土師質土器 陶器	12.8	(2.8) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR8/3	浅黄褐7.5YR8/3	1mm以下の石英を含む
53	土師質土器 陶器	12.8	(5.0) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	2mm以下の石英、長石を含む、2mm以下のクオリティを少量化
54	土師質土器 陶器	13.0	(1.7) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を含む
55	土師質土器 陶器	14.4	(2.7) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を含む
56	土師質土器 陶器	16.8	(1.4) 内外面ナメ	褐5Y7/6	褐5Y7/6	1mm以下の石英、長石を少量化
57	土師質土器 陶器	16.2	(1.6) 内外面ナメ	褐5Y7/6	褐5Y7/6	1mm以下の長石、長石を少量化
58	土師質土器 小皿	8.0	(1.4) 内外面ナメ	褐5Y7/6	褐5Y7/6	1mm以下の石英、長石を少量化
59	土師質土器 陶器	8.4	1.4 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を少量化
60	土師質土器 陶器	7.9	(1.9) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を少量化
61	土師質土器 陶器	14.0	(2.3) 内外面ナメ	にぶい黒7.5YR7/4	にぶい黒7.5YR7/4	1mm以下の石英、長石を少量化
62	土師質土器 陶器	13.9	(1.6) 内外面ナメ	浅黄褐7.5YR7/3	浅黄褐7.5YR7/3	1mm以下の石英、長石を少量化
63	土師質土器 陶器	15.6	(3.1) 内外面ナメ	淡黄2.5Y8/3	淡黄2.5Y8/3	1mm以下の石英、長石を少量化
64	土師質土器 陶器	16.8	(2.0) 内外面ナメ 内面鏡面カズリ	にぶい黒7.5YR7/3	にぶい黒7.5YR7/3	1mm以下の長石、長石を少量化
65	土師質土器 陶器	16.2	(1.6) 内外面ナメ	淡白2.5Y7/6	淡白2.5Y7/6	1mm以下の長石を少量化
66	土師質土器 陶器	27.0	(3.2) 内外面ナメ、裏面カハケ目	褐5Y7/6	にぶい黒7.5YR7/4	やや粗 2mm以下の石英、長石を多量に含む
67	黑色土器 楕	11.9	(2.4) 内外面ナメ	NS	NS	0.5mm以下の石英を少量化
68	土師質土器 陶器	12.0	(2.0) 内外面ナメ	褐5Y7/3	褐5Y7/3	1mm以下の石英、長石を含む
69	土師質土器 陶器	15.1	(2.5) 内外面ナメ、外面セミカ	淡黄7.5Y7/1	淡黄7.5Y7/1	1mm以下の長石を少量化
70	土師質土器 陶器	14.4	(3.7) 内外面ナメ	淡黄2.5Y7/1	淡黄2.5Y7/1	1mm以下の長石を少量化
71	土師質土器 陶器	5.2	(1.3) 内外面ナメ	灰白2.5Y7/1	灰白2.5Y7/1	0.5mm以下の長石を少量化
72	土師質土器 陶器	6.2	(3.0) 内外面ナメ	灰白2.5Y7/1	灰白2.5Y7/1	1mm以下の長石を少量化
73	瓦質土器 ごね鉢	21.9	(7.7) 内外面ナメ	灰白N7	灰白N7	0.5mm以下の石英を少量化
74	土師質土器 陶器		内外面ナメカハケ 直面頭頂紋似	にぶい黒7.5YR7/3	にぶい黒7.5YR7/3	やや粗 2mm以下の石英を少量化

76	瓦質土器 壺		(11.0)	内外面少ナメ	灰質2.5YR/2	灰4/6	巻 1mm以下の中石を少々。クリヤー間に含む。	
77	土師質土器 小壺	5.2	1.0	内外面ナメ 滅面赤切引	にじる黄3YR/4	灰質2.5YR/4	巻 2mm以下の石英、長石を含む。	
77	土師質土器 小壺	7.2	7.9	内外面ナメ 滅面赤切引	滅面3YR/4	灰質2.5YR/4	巻 2mm以下の石英、長石を含む。	
78	土師質土器 瓶	14.6	7.0	3.9	内外面ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/4	4mm以下の石英、長石を含む。
79	鉢形 丸刀子							
80	硯石							
82	土師質土器 小壺	8.0	1.0	内外面ナメ	灰質2.5YR/3	灰質2.5YR/3	巻 2mm以下の長石を少々含む。	
83	土師質土器 瓶	5.2	1.0	内外面ナメ	にじる黄3YR/4	灰質2.5YR/3	巻 5mm以下の石英、長石を含む。	
84	土師質土器 瓶	9.9	(0.9)	内外面ナメ	にじる青褐5YR/5	明褐色5YR/6	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。	
85	土師質土器 ごね鉢							
86	土師質土器 瓶	9.2	(1.0)	内外面ナメ	にじる黄3YR/4	にじる緑7.5YR/3	巻 3mm以下の石英、長石チャートを多量に含む。	
87	土師質土器 小壺	12.5	(1.7)	内外面ナメ	灰質2.5YR/2	にじる緑7.5YR/4	巻 1mm以下の石英、長石を含む。	
87	土師質土器 小壺	5.6	2.6	1.2	内外面ナメ	灰褐3.5YR/2	にじる緑7.5YR/3	巻 1mm以下の石英、長石を含む。
88	土師質土器 小壺	7.2	3.8	1.0	内外面ナメ	灰質2.5YR/3	にじる黄3YR/3	5mm以下の石英、長石を含む。
89	土師質土器 小壺	7.6	6.0	1.2	内外面ナメ 滅面赤切引+重ね燒痕	灰質2.5YR/3	灰質2.5YR/3	巻 5mm以下の石英、長石を含む。
90	土師質土器 小壺	8.0	5.6	1.5	内外面ナメ 滅面赤切引	にじる黄3.5YR/4	灰質2.5YR/4	巻 2mm以下の石英、長石を含む。
91	土師質土器 小壺	9.0						
92	土師質土器 瓶	9.6						
93	土師質土器 瓶	9.8	7.0	2.6	内外面ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/6	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。
94	土師質土器 瓶	11.0						
95	土師質土器 瓶	13.0	9.6	2.5	内外面ナメ	灰2.5YR/8	灰2.5YR/6	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。
96	土師質土器 瓶	13.7						
97	土師質土器 灰	6.6	(0.8)	内外面ナメ	灰7.5YR/7	灰7.5YR/7	巻 2mm以下の石英、長石を含む。	
98	土師質土器 瓶	7.5	(1.4)	内外面ナメ	灰白2.5YR/2	灰白2.5YR/2	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。	
99	土師質土器 瓶	8.0	(1.3)	内外面ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/4	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。	
100	土師質土器 瓶	7.7	(2.1)	内外面ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/3	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。	
101	土師質土器 瓶	7.8	(1.6)	内外面ナメ 滅面赤切引後板ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/4	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。	
102	土師質土器 瓶	16.2	(3.6)	内外面ナメ	灰質2.5YR/4	灰質2.5YR/4	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。	
103	土師質土器 瓶	19.0	(2.7)	内外面ナメ 外面赤ミドリ 内面ハケ	灰白2.5YR/2	灰白2.5YR/2	巻 0.5mm以下の石英を少々含む。	
104	土師質土器 瓶	6.2	(2.8)	内外面ナメ	灰質2.5YR/6	灰白2.5YR/1	巻 2mm以下の長石を少々含む。	
105	泥質土器 瓶	15.3	(1.9)	内外面ナメ	灰白2.5YR/1	灰白2.5YR/1	巻 0.5mm以下の石英、長石を含む。	
106	泥質土器 瓶	9.2	(0.9)	内外面ナメ	灰7.5YR/1	灰7.5YR/1	巻 1mm以下の長石を少々含む。	
107	瓦器 瓦	5.2	(1.3)	内外面ナメ	にじる黄7.5YR/3	灰白10YR/2	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
108	瓦器 瓦	14.4	(2.6)	内外面ナメ 滅面赤切引	灰白/N	灰白/N	巻 1mm以下の長石を少々含む。	
109	瓦器 瓦	8.6	(4.9)	内外面ナメ	灰白2.5YR/1	灰白2.5YR/1	巻 1mm以下の長石を少々含む。	
110	瓦器 瓦	2.40	(3.5)	内外面ナメ	灰白9YR/1	灰白9YR/1	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
111	瓦器 瓦	9.9	(1.6)	内外面ナメ	灰白2.5YR/1	灰白2.5YR/1	巻 2mm以下の長石を多く含む。	
112	瓦器 斜面小瓶	9.8	(2.9)	内外面ナメ	にじる黄7.5YR/4	灰質2.5YR/3	巻 2mm以下の石英、長石を少々含む。	
113	瓦器 床	9.9	(1.9)	内外面ナメ	灰皮7.5YR/1	灰皮7.5YR/1	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
114	瓦器 小壺	9.2	(2.2)	内外面ナメ	灰7.5YR/6	灰7.5YR/5	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
115	瓦器 小壺	9.9	(2.2)	内外面ナメ	灰褐2.5YR/4	にじる黄7.5YR/4	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。	
116	瓦器 伴	9.5	(1.6)	内外面ナメ	灰灰7.5WYR/1	にじる黄7.5YR/4	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。	
117	瓦器 瓶	13.8	(2.7)	内外面ナメ	灰白2.5YR/2	灰白2.5YR/2	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
118	瓦器 瓶	5.8	(1.0)	内外面ナメ	にじる黄7.5YR/4	にじる黄7.5WYR/4	やや薄い 2mm以下の石英、長石、クリヤー間に少々含む。	
119	漆系土器器 旗	5.8	(2.4)	内外面ナメ	灰白2.5YR/2	灰白2.5YR/2	0.5~1mmの石英、長石を少々含む。	
120	漆質土器 瓶	15.9	(7.9)	内外面ナメ	灰白N/1	灰白N/1	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
121	漆質土器 斧							
122	瓦器 斧							
123	瓦器 瓶							
124	瓦器 瓶 ごね鉢							
125	瓦器 瓶 錐頭	17.3	(3.1)	内外面ナメ	にじる黄2.5YR/2	にじる黄2.5YR/2	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。	
126	瓦器 瓶 ごね鉢	12.3	(4.5)	内外面ナメ	灰白N/1	灰白N/1	巻 0.5mm以下の石英を含む。	
127	瓦器 瓶 亂刷							
128	土師質土器 瓶	10.6	(3.1)	内外面ナメ	灰質2.5YR/2	灰質2.5YR/2	巻 0.5~1mmの石英、長石を少々含む。	
129	土師質土器 瓶	12.6	(1.6)	内外面ナメ	灰質2.5YR/3	灰2.5YR/2	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
130	土師質土器 小壺	8.4	(1.1)	内外面ナメ	灰2.5YR/6	灰2.5YR/6	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
131	土師質土器 瓶	15.9	(1.3)	内外面ナメ	灰2.5YR/4	灰灰2.5YR/3	巻 1mm以下の石英、0.5mm以下の長石を含む。	
132	土師質土器 小壺	6.6	3.0	1.0	内外面ナメ	灰灰2.5YR/3	灰灰2.5YR/3	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。
133	土師質土器 小壺	7.2	4.0	1.4	内外面ナメ	灰2.5YR/6	灰2.5YR/5	巻 1mm以下の石英、長石を少々含む。
134	土師質土器 小壺	8.0	7.0	1.4	内外面ナメ	灰灰2.5YR/4	灰灰2.5YR/4	巻 0.5mm以下の石英、長石を少々含む。
135	土師質土器 小壺	12.5	(2.5)	内外面ナメ	灰2.5YR/3	灰2.5YR/3	2mm以下の石英、長石を少々含む。	
136	土師質土器 瓶	10.0	(2.4)	内外面ナメ	灰2.5YR/2	灰2.5YR/2	2mm以下の石英、長石を少々含む。	
137	土師質土器 瓶	11.8	(2.5)	内外面ナメ	灰質2.5YR/3	灰質2.5YR/3	0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
138	土師質土器 瓶	11.8	(2.2)	内外面ナメ	灰合10YR/2	灰合10YR/2	1mm以下の石英、長石を含む。	
139	土師質土器 瓶	8.3	(1.3)	内外面ナメ	灰2.5YR/2	灰2.5YR/2	0.5mm以下の石英、長石を含む。	
140	土師質土器 瓶	8.4	(1.9)	内外面ナメ	灰2.5YR/6	灰2.5YR/6	0.5mm以下の石英、長石を含む。	
141	土師質土器 瓶		(2.5)	内外面ナメ 前曲ハケ目	にじる黄7.5YR/3	にじる黄7.5YR/4	2mm以下の石英、長石を少々含む。	
142	漆質土器 ごね鉢	22.6	(2.0)	内外面ナメ	灰白N/1	灰白N/1	0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
143	土師質土器 小壺		(1.7)	内外面ナメ	灰7.5YR/2.6	灰7.5YR/1.7	0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
144	土師質土器 小壺	9.4	(1.5)	内外面ナメ	にじる黄2.5YR/3	にじる黄2.5YR/3	0.5mm以下の石英、長石を少々含む。	
145	土師質土器 瓶	8.4	(3.6)	内外面ナメ 内面指縫注口	灰白2.5YR/2	灰合10YR/2	2mm以下の長石、クリヤー間に含む。	
146	土師質土器 小壺	6.2	4.1	1.1	内外面ナメ	灰2.5YR/3	にじる黄2.5YR/3	0.5mm以下の石英、長石、少々の含蓄荷、クリヤー間に含む。
147	土師質土器 小壺	8.6	(6.9)	内外面ナメ	灰白10YR/2	灰白10YR/2	2mm以下の石英、1mmの長石を含む。	
148	土師質土器 小壺	9.4	4.9	(1.7)	内外面ナメ	漆質SYR/4	漆質SYR/4	1mm以下の石英、長石を少々含む。
149	土師質土器 瓶	3.6	(1.0)			灰合10YR/4	灰合10YR/4	0.5mm以下の石英、長石を含む。
150	土師質土器 瓶	4.8	(3.9)	内外面ナメ	灰灰2.5YR/2	灰灰2.5YR/2	0.5mm以下の石英、長石を含む。	
151	土師質土器 瓶	11.0	(2.5)	内外面ナメ	漆質SYR/3	漆質SYR/3	0.5mm以下の石英、長石を含む。	

1. 土師質土器 枝	5.1	(1.0)	内外面ナデ	赤46°	C.N.	赤 1m以下の長石を含む	
2. 土師質土器 枝	6.1	(1.5)	内外面ナデ	赤白71°	赤 白色	赤 1m以下の中石英、0.5mm以下の長石を含む	
23. 土師質土器 杯	10.9	(1.3)	内外面ナデ	赤白57°	赤	赤 1m以下の石英、0.5mm以下の長石を含む	
232. 土師器 枝	12.0	(1.3)	内外面ナデ	赤白59°	赤	赤 1m以下の石英、0.5mm以下の長石を含む	
233. 塔塔器	3.6	(3.3)	内外面ナデ 外面鉗頭直柱	にしら・黄青10YR7/3	にしら・黄青10YR7/3	やや暗 1.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、金雲母を含む	
234. 土師質土器 枝	3.4	(4.0)	内外面ナデ 外面指輪直柱	赤褐75YR1/1	赤褐75YR1/1	やや暗 1m以下の石英、長石、金雲母を含む	
235. 漆器 青色 こね軸	4.8	(4.8)	内外面ナデ	赤褐75YR1/2	赤褐75YR1/2	密 0.5mm以下の長石、1m以下の石英、含金母を含む	
236. 土師質土器 枝	2.8	(2.8)	内外面ナデ	土白・赤75YR1/4	土白・赤75YR1/4	やや暗 1m以下の中石英、0.5mm以下の長石、金雲母を含む	
237. 土師質土器 足盤	5.9	(1.0)	内外面ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	やや暗 1m以下の中石英、長石を含む	
238. 土師質土器 足盤			内外面ナデ	にしら・黄青10YR7/3	にしら・黄青10YR7/3	細 0.5mm以下の長石、2mm以下の石英、金雲母を含む	
239. 土師質土器 小皿	5.0	(0.8)	内外面ナデ	赤白59°	赤	赤 1m以下の石英、クリオライト、0.5mm以下の長石を含む	
240. 土師質土器 枝	8.4	(2.5)	内外面ナデ	にしら・黄青10YR7/4	にしら・黄青10YR7/4	赤 1m以下の石英、1mm以下の長石を含む	
241. 土師質土器 小皿	5.1	(0.0)	内外面ナデ	褐褐8YR5/1	褐褐8YR5/1	やや暗 1m以下の石英、長石を含む	
242. 土師質土器 小皿	5.0	(0.0)	内外面ナデ	褐褐8YR5/2	褐褐8YR5/2	やや暗 1m以下の石英、長石を含む	
243. 土師質土器 小皿	5.0	(0.7)	内外面ナデ	赤褐75YR1/3	赤褐75YR1/3	赤 1m以下の石英、1mm以下の長石、金雲母を含む	
244. 土師質土器 小皿	5.8	(0.8)	内外面ナデ	にしら・赤75YR1/4	にしら・赤75YR1/4	赤 0.5mm以下の長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
245. 土師質土器 枝	7.2	(1.8)	内外面ナデ	灰白10YR2/2	灰白10YR2/2	赤 0.5mm以下の長石、1mm以下のクリオライトを含む	
246. 土師質土器 枝	7.0	(1.7)	内外面ナデ	赤白10YR1/8	赤白10YR1/8	赤 1m以下の石英、長石、クリオライトを含む	
247. 漆器 青色 枝	5.5	(1.5)	内外面ナデ	褐褐10YR1/6	褐褐10YR1/6	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
248. 黑色土器 枝	14.5	(2.4)	内外面ナデ 外面指輪直柱	褐褐10YR1/8	褐褐10YR1/8	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
249. 黑色土器 枝	5.4	(1.2)	内外面ナデ	赤褐75YR1/3	赤褐75YR1/3	赤 1m以下の長石、0.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
250. 瓷器 錐	15.6	(2.2)	内外面ナデ	褐褐10YR1/6	褐褐10YR1/6	赤 1m以下の長石、0.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
251. 土師質土器 枝			内外面ナデ 内外貼付ナデ	にしら・赤75YR1/4	にしら・赤75YR1/4	赤 1m以下の石英、0.5mm以下のクリオライトを含む	
252. 平皿			内外面ナデ	灰白10YR1/2	灰白10YR1/2	赤 1.5mm以下の長石を含む	
253. 土師質土器 枝	7.0	(2.2)	内外面ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	赤 1m以下の石英、長石、クリオライトを含む	
254. 土師質土器 小皿	6.1	5.1	内外面ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石を含む	
255. 瓷器 錐	3.6	(0.9)	内外面ナデ 内面貼付ナデ	褐褐10YR1/6	褐褐10YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
256. 瓷器 錐			内外面ナデ	褐褐10YR1/8	褐褐10YR1/8	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
257. 土師質土器 遺			内外面ナデ	赤褐5YR4/2	赤褐5YR4/2	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
258. 陶土質 焼	1.2	(1.0)	内外面ナデ	褐褐75YR1/2	褐褐75YR1/2	赤 1m以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
259. 土師質土器 足盤	2.2	(4.0)	内外面ナデ 赤白帶油直柱	褐褐75YR1/2	褐褐75YR1/2	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
260. 土師質土器 小皿	8.6	(1.8)	内外面ナデ	褐褐75YR1/8	褐褐75YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
261. 土師質土器 枝	2.4	(3.1)	内外面ナデ	赤褐10YR4/6	赤褐10YR4/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
262. 土師質土器 小皿	7.5	9.8	1.0	内外面ナデ	赤褐75YR1/4	赤褐75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む
263. 土師質土器 小皿	8.5	14.0	1.4	内外面ナデ	赤褐75YR1/6	赤褐75YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む
264. 土師質土器 小皿	8.7	8.6	1.4	内外面ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む
265. 磁器 錐	3.0	(2.7)	内外面ナデ	褐褐10YR1/6	褐褐10YR1/6	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
266. 土師質土器 枝	3.6	(2.6)	内外貼付ナデ	赤白10YR1/8	赤白10YR1/8	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
267. 陶生土器 簋	3.6	(2.2)	内外貼付ナデ	灰白10YR2/8	灰白10YR2/8	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
268. 陶质質土器 枝	9.6	(1.8)	内外貼付ナデ	灰白10YR2/8	灰白10YR2/8	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
269. 土師質土器 小皿	7.0	(2.2)	内外貼付ナデ 外面指輪直柱	褐褐10YR1/6	褐褐10YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
270. 黑色土器 瓢	5.6	(2.1)	内外貼付ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
271. 陶瓦 瓢	10.6	(1.1)	内外貼付ナデ	土白4	土白4	赤 1.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
272. 土師質土器 小皿	11.7	(1.0)	内外貼付ナデ	土白2/5	土白2/5	赤 1.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
273. 土師質土器 調	27.5	(3.0)	内外貼付ナデ 外面指輪直柱	にしら・赤75YR1/4	にしら・赤75YR1/4	赤 0.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
274. 黑色土器 瓢	7.4	(2.0)	内外貼付ナデ	にしら・赤75YR1/6	にしら・赤75YR1/6	赤 0.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
275. 瓷器 錐			内外面ナデ	褐褐75YR1/1	褐褐75YR1/1	赤 0.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石、含金母を含む	
276. 土師質土器 枝	11.6	8.0	2.1	内外面ナデ	赤褐75YR1/3	赤褐75YR1/3	赤 1m以下の長石を含む
277. 土師質土器 枝	13.4	9.3	3.4	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む
278. 土師質土器 枝	13.9	7.0	4.5	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下の長石、含金母を含む
279. 土師質土器 枝	28.8	(9.3)	内外面ナデ 内面ハケ目	にしら・赤75YR1/4	赤75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
280. 土師質土器 小皿	8.9	(1.4)	内外面ナデ	赤褐75YR1/2	赤褐75YR1/2	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
281. 土師質土器 小皿	7.2	(1.3)	内外面ナデ	赤褐75YR1/4	赤褐75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
282. 土師質土器 小皿	7.0	7.4	1.1	内外面ナデ	赤褐75YR1/4	赤褐75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
283. 土師質土器 小皿	7.6	3.9	1.0	内外面ナデ	褐褐75YR1/6	褐褐75YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
284. 土師質土器 小皿	7.8	8.0	1.1	内外面ナデ 脊蓋直柱	赤褐75YR1/6	赤褐75YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
285. 土師質土器 小皿	8.0	6.2	1.1	内外面ナデ	赤褐75YR1/8	赤褐75YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
286. 土師質土器 小皿	7.6	7.0	1.1	内外面ナデ	赤白10YR2/2	赤白10YR2/2	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
287. 土師質土器 小皿	8.4	6.1	1.1	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
288. 土師質土器 小皿	8.5	(1.2)	内外面ナデ	褐褐75YR1/6	褐褐75YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
289. 土師質土器 小皿	9.0	(0.1)	内外面ナデ	褐褐10YR1/8	褐褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
290. 土師質土器 小皿	9.0	7.2	1.3	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
291. 土師質土器 小皿	8.8	7.4	1.3	内外面ナデ	にしら・黄青10YR1/7	にしら・黄青10YR1/7	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
292. 土師質土器 小皿	8.0	(1.0)	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
293. 土師質土器 小皿	9.0	7.7	1.4	内外面ナデ	赤褐75YR1/4	赤褐75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
294. 土師質土器 小皿	9.4	7.2	1.4	内外面ナデ	にしら・黄75YR1/4	にしら・黄75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
295. 土師質土器 枝		(2.5)	内外面ナデ	褐褐75YR1/6	褐褐75YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
296. 土師質土器 枝	11.6	7.0	2.9	内外面ナデ 底面鉗頭切切り	赤白10YR2/2	赤白10YR2/2	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
297. 土師質土器 枝	9.0	7.0	2.6	内外面ナデ	赤白10YR2/6	赤白10YR2/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
298. 土師質土器 枝	9.1	8.8	2.6	内外面ナデ	赤褐75YR1/3	赤褐75YR1/3	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
299. 土師質土器 枝	9.2	9.0	2.2	内外面ナデ	赤褐75YR1/4	赤褐75YR1/4	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
300. 土師質土器 枝		(2.9)	内外面ナデ	にしら・黄75YR1/7	にしら・黄75YR1/7	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
301. 土師質土器 枝	12.8	8.3	8.3	内外面ナデ	にしら・黄75YR1/7	にしら・黄75YR1/7	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む
302. 土師質土器 枝	12.8	(1.1)	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
303. 土師質土器 枝	13.1	(1.0)	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
304. 土師質土器 小皿	13.0	(1.7)	内外面ナデ	赤褐10YR1/8	赤褐10YR1/8	赤 0.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	
305. 土師質土器 枝	13.4	(2.4)	内外面ナデ	赤褐10YR1/6	赤褐10YR1/6	赤 1.5mm以下の石英、長石、0.5mm以下のクリオライトを含む	

116 土師質土器 枝	14.4	9.8	3.8	内外面ナデ	1-514 黒褐10YR7/3	淡黄褐色GYR6-3	地 3mm以下の長石を少量含む
117 土師質土器 枝	15.4	(24)	内外面ナデ	淡黄褐色GYR6-3	淡黄褐色GYR6-3	地 3mm以下の長石・長石クリンクルを含む	
118 土師質土器 枝	14.6	(32)	内外面ナデ	にしら 黄褐10YR7/2	淡黄褐色GYR6-2	地	
119 土師質土器 枝	15.0	(32)	内外面ナデ	灰白10YR8/2	淡黄10YR8/2	地 1mm以下の長石・長石を少量含む	
120 土師質土器 枝	6.0	(12)	内外面ナデ	灰白10YR7/4	にしら 黄褐10YR7/4	地 3mm以下の長石・長石を含む	
121 土師質土器 小豆	7.2	(10)	内外面ナデ	灰白10YR8/2	にしら 黄褐10YR7/4	地 3mm以下の長石・長石を含む	
122 土師質土器 枝	10.0	(6)	内外面ナデ	灰白10YR8/2	にしら 黄褐10YR7/3	地 3mm以下の長石・長石を含む	
123 土師質土器 枝	10.0	11	内外面ナデ	灰白10YR8/2	にしら 黄褐10YR7/3	地 3mm以下の長石・長石を含む	
124 土師質土器 枝	11.0	(12)	内外面ナデ	暗灰10YR5/1	にしら 黄褐10YR7/2	地 3mm以下の長石・長石を含む	
125 土師質 地	5.8	(9)	内外面ナデ	浅黄褐色GYR6-3	浅黄褐色GYR6-3	地 1mm以下の長石・長石・0.5mm以下のクリソバトを含む	
126 銀色質土器 楕		(26)	内外面ナデ	灰白10YR7/1	灰白10YR7/1	地	
127 流星質土器 楕		(21)	内外面ナデ	灰白2.5YR7/2	灰白2.5YR7/2	地 3mm以下の長石・長石を含む	
128 流星質土器 楕	15.0	(25)	内外面ナデ・翫毛打斗	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/1	地 3mm以下の長石・長石を含む	
129 流星質土器 楕	16.0	(23)	内外面ナデ・外湯頭頂丘頂	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/1	地	
130 流星質土器 楕	8.0	(6)	内外面ナデ	灰NE/	灰NE/	地 長石を少々含む	
131 流星質土器 楕	4.6	(10)	内外面ナデ	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/2	地 1mm以下の長石を少々含む	
132 流星質土器 楕	5.0	(13)	内外面ナデ・内刺繡打牛	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/2	地 1mm以下の長石・長石を含む	
133 白色質土器 楕	4.8	(25)	内外面ナデ	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/1	地 1mm以下の長石・長石を含む	
134 瓦絆 楔	4.0	(7)	内外面ナデ	灰M7/	灰M7/	地	
135 流星質土器 楕		(43)	内外面ナデ	灰白N7/	灰白2.5YR7/1	地 0.5mm以下の長石・長石・金雲母を少々含む	
136 流星質土器 こね跡	24.6	(40)	内外面ナデ	灰黄2.5YR7/2	灰黄2.5YR7/2	地 1mm以下の長石・0.5mm以下の長石を含む	
137 流星質土器 こね跡	25.0	(17)	内外面ナデ・外指屈屈痕	灰白2.5YR7/1	灰白2.5YR7/1	地 0.5mm以下の長石を少々含む	
138 土師質 壺		(23)	内外面ナデ	灰青GYR6-4	にしら 黄褐GYR5/4	地 2mm以下の石英・長石を含む	
139 瓦絆 二つ鉢	8.6	(4)	内外面ナデ	灰白2.5YR7/1	灰M7/	地 2mm以下の長石・長石を少々含む	
140 土師質土器 瓢箪			内面ナデ	にしら 黄褐10YR7/3	地	1mm以下の長石・金雲母を少々含む	
141 土師質土器 小豆	7.4	(11)	内外面ナデ	暗灰7.5YR7/6	暗灰7.5YR7/6	地	
142 土師質土器 小豆	7.6	5.7	11 内外葉ナデ	灰白2.5YR7/2	灰白2.5YR7/2	地	
143 土師質土器 小豆	7.8	(10)	内外葉ナデ	浅黄褐色GYR6-3	浅黄褐色GYR6-3	地 長石・クリソバトを含む	
144 土師質 葵 小豆	7.6	6.0	8.8 内外葉ナデ	地灰SYR7/6	地灰SYR7/6	地 1mm以下の石英・長石・0.5mm以下のナラフ板を含む	
145 土師質土器 小豆	10.8	(18)	内外葉ナデ	地灰SYR7/6	地灰SYR7/6	地	
146 土師質土器 小豆	12.0	(19)	内外葉ナデ	にしら 黄7.5YR7/4	にしら 黄7.5YR7/3	地	
147 土師質土器 枝	14.0	(11)	内外葉ナデ	淡黄褐色GYR6-3	淡黄褐色GYR6-3	地 3mm以下の石英・長石を含む	
148 土師質土器 枝	15.0	(22)	内外葉ナデ	にしら 黄7.5YR7/1	地	1mm以下の石英・金雲母を少々含む	
149 土師質土器 枝	8.0	(10)	内外葉ナデ	にしら 黄7.5YR7/4	にしら 黄7.5YR7/4	地 長石・クリソバトを含む	
150 土師質土器 枝	7.8	(10)	内外葉ナデ	地灰SYR7/4	地灰SYR7/4	地 1mm以下の石英・長石・0.5mm以下のナラフ板を含む	
151 土師質土器 枝	8.0	(15)	内外葉ナデ	にしら 黄7.5YR7/4	にしら 黄7.5YR7/4	地 1mm以下の石英・長石・金雲母を少々含む	
152 土師質土器 枝	8.0	(20)	内外葉ナデ	灰白2.5YR7/2	灰白2.5YR7/2	地 2mm以下の石英・長石を含む	
153 土師質土器 枝	5.8	(10)	内外葉ナデ	灰白2.5YR7/2	灰白2.5YR7/2	地 1mm以下の石英・長石を含む	
154 土師質土器 枝	6.3	(15)	内外葉ナデ	にしら 黄褐10YR7/4	地	1mm以下の石英・長石を含む	
155 土師質 壺		(2)	内外葉ナデ	灰灰GYR6-4	にしら 黄褐10YR7/4	地 3mm以下の石英・長石を含む	
156 半瓦				理7.5YR7/6	理7.5YR7/6	地 3mm以下の石英・長石を含む	
157 青磁 直	4.8	(11)	内外面施釉	黑釉 灰白2.5YR7/2	物 灰白2.5YR7/1	地	
158 二神質土器 枝	8.4	(16)	内外面ナデ	灰白2.5YR7/8	理7.5YR7/8	地 1mm以下の石英・長石・多量の算粉を含む	
159 土師質土器 枝	10.0	(13)	内外葉ナデ	にしら 黄褐10YR5/3	にしら 黄褐10YR5/3	地 2mm以下の石英・長石・金雲母を少々含む	
160 土師質 壺	18.8	(3)	内外葉ナデ	地灰SYR6-8	地	1mm以下の石英・長石を含む	
161 土師質 土瓶		(8)	内外葉ナデ 内張施ケゾ	にしら 黄褐10YR7/3	にしら 黄褐10YR7/3	地 5mm以下の石英・長石を含む	
162 弥生土器 武形	6.2	(20)	内外葉ナデ	にしら 黄褐10YR6-3	地	5mm以下の石英・長石を含む	
163 弥生土器 武形	8.0	(10)	内外葉ナデ	にしら 黄褐10YR6-4	地	5mm以下の石英・長石を含む	
164 旗器質土器 枝	9.0	(11)	内外葉ナデ	灰白M7/	灰白M7/	地 0.5mm以下の石英を含む	
165 旗器質土器 壺		(22)	内外葉ナデ	黑釉 旗器質13GYR7/1	地 旗器質13GYR7/1	地	
166 土師質 土瓶		(2)	内外葉ナデ	地7.5YR7/9	地7.5YR7/9	地 0.1mm以下の石英・長石・金雲母を含む	
167 土師質土器 枝	22.1	(15)	内外葉ナデ	地7.5YR7/9	地7.5YR7/9	地 0.1mm以下の石英・長石・金雲母を含む	
168 土師質 土瓶	22.1	(5)	内外葉ナデ	淡黄2.5YR7/3	淡黄2.5YR7/3	地 1mm以下の石英・長石を含む	
169 漆器質 壺	19.8	(9)	内外葉ナデ	漆白	漆白	地 0.5mm以下の石英・長石・多量の算粉を含む	
170 漆器質 壺	19.0	(3)	内外葉ナデ	にしら 黄褐SYR5/4	地	0.2mm以下の石英・長石・多量の算粉を含む	
171 漆器質 壺	4.4	(14)	内外葉ナデ	美灰褐10YR6-4	地	0.1mm以下の石英を含む	
172 半瓦				理7.5YR7/6	理7.5YR7/6	地 1mm以下の石英を多量・0.5mm以下の長石を含む	



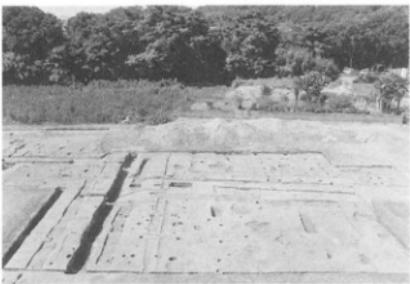
1. 由良南原遺跡完掘状況(北から)



2. 由良南原遺跡完掘状況(南から)



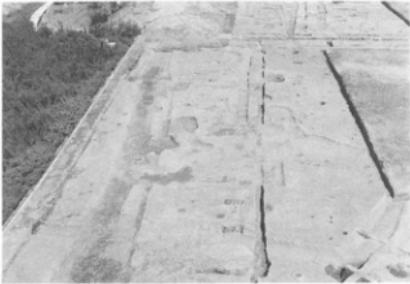
3. 南区南部完掘状況(北東から)



4. 北区完掘状況(東から)



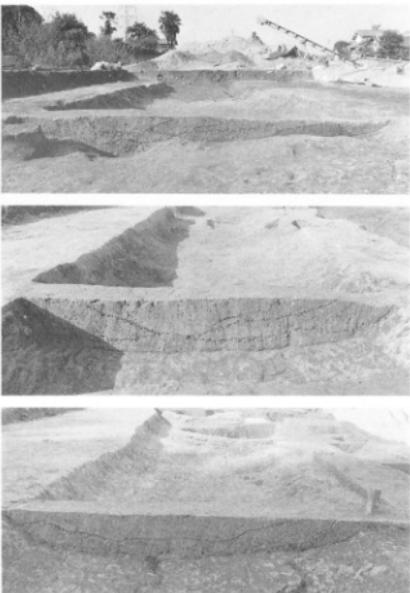
5. 南区中央部完掘状況(東から)



6. 南区完掘状況(南から)



1. SD01 完掘状況(南から)



2. SD01 土層堆積状況



3. SB01,05 完掘状況(北から)



4. SB02 完掘状況(東から)



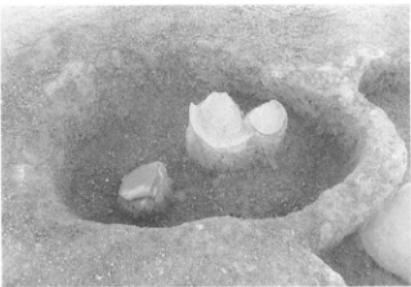
5. SB01,05 完掘状況(東から)



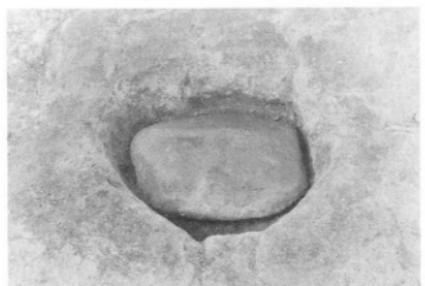
6. SB04 完掘状況(南西から)



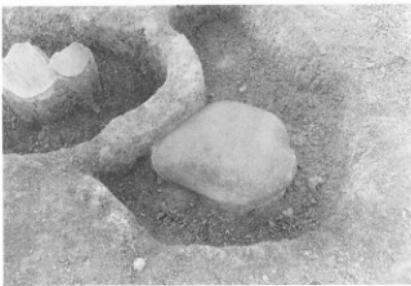
1. SP 48 土器出土狀況



5. NP 87 土器出土狀況



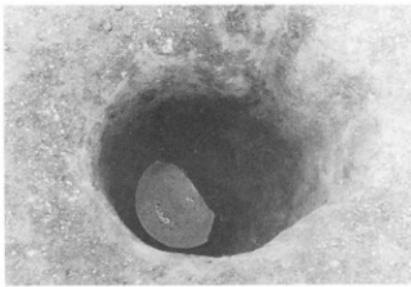
2. SP 48 土器除去後狀況



6. NP 88 根石出土狀況



3. NP 110 土器出土狀況



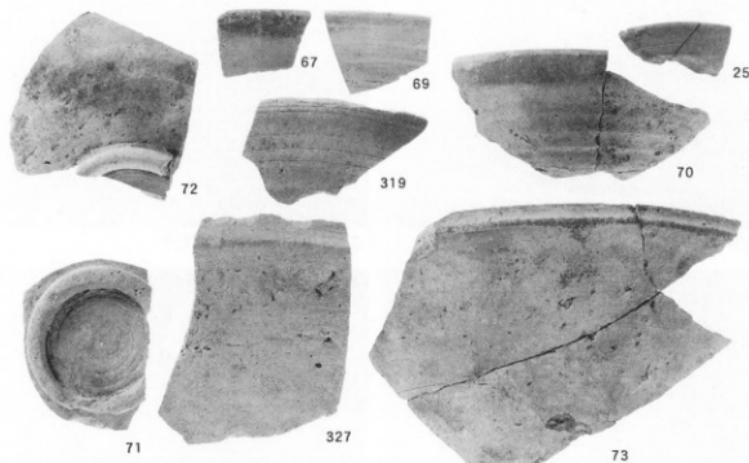
7. NP 141 土器出土狀況



4. NP 103 土器出土狀況



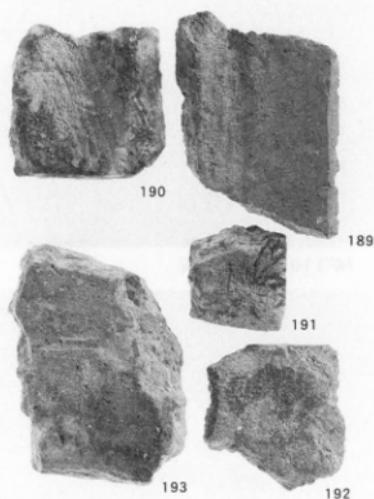
8. SD 04 土器出土狀況



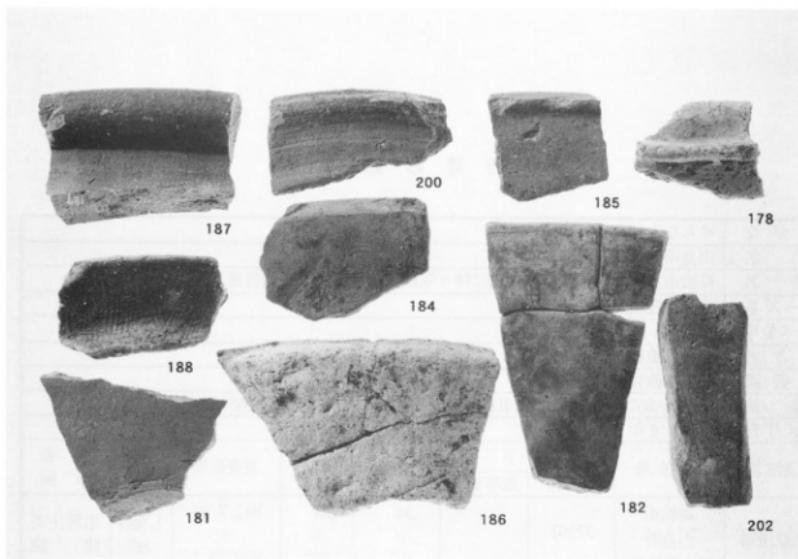
1. SB01他出土遺物(319、327はNP154出土遺物)



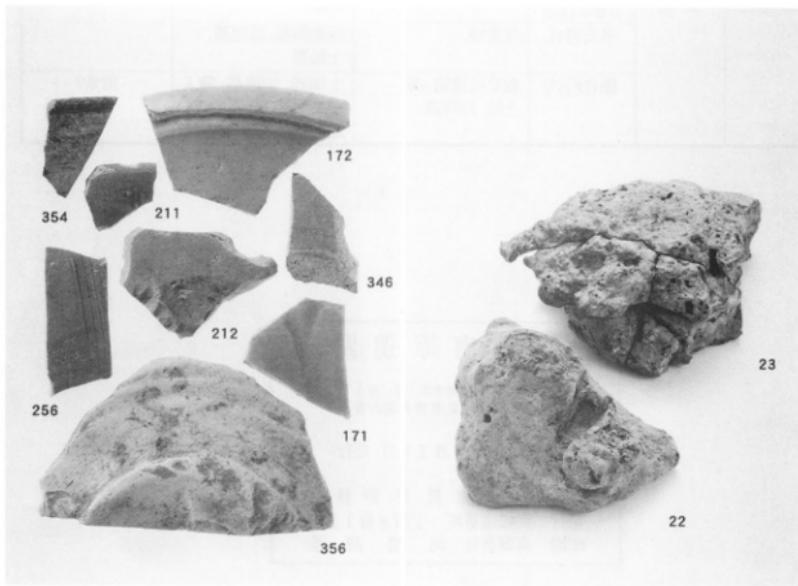
2. SP48出土遺物



3. SD01出土瓦



1. SD01 出土遺物



2. 輸入磁器・綠釉陶器

3. 試掘調査出土鉄滓

報告書抄録

ふりがな	ゆらなんばらいせき							
書名	由良南原遺跡							
副書名	高松市川東団地住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第58集							
編集者名	山元 敏裕							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087(839)2636							
発行年月日	平成14年3月29日							
所取遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
由良南原遺跡	高松市 由良町 339番地他	37201		34° 16' 45"	134° 6' 22"	H12.7.31 ~ H12.10.3	1,085 m ²	市営住宅 建設
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
由良南原遺跡	集落	弥生時代中期 古墳時代初頭	包含層	弥生土器、土師器、 石鎚				
		平安時代	包含層	綠釉陶器、須恵器、 土師器				
		鎌倉時代	掘立柱建物、溝、 土坑、旧河道	土師器、須恵器、輸入 磁器、瓦、黒色土器、 瓦器		御堂?		

由良南原遺跡

高松市川東団地新築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成14年3月29日発行

編集 高松市教育委員会
発行 高松市番町一丁目8番15号
印刷 有限会社河端商会

附図 由良南原遺跡遺構配置図

